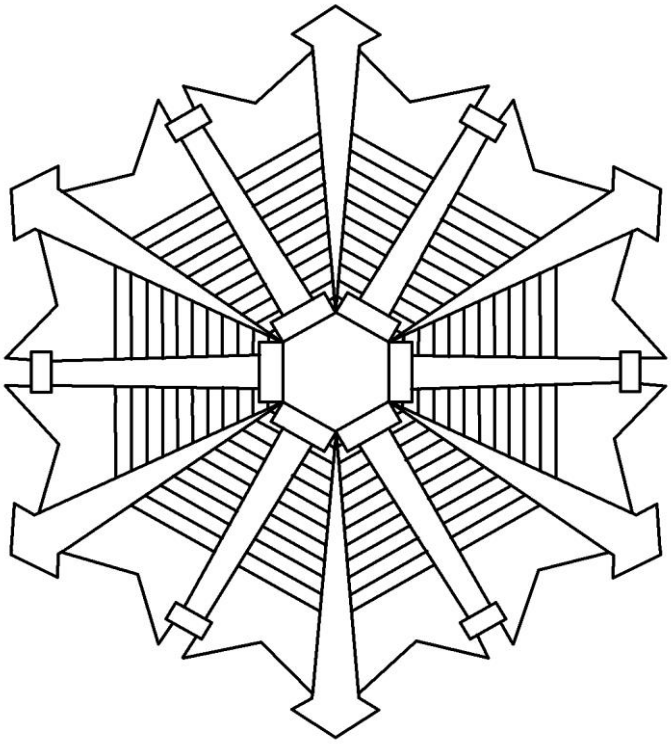
消　防　年　報

令和２年版



葉 山 町 消 防 本 部

町　章

町の花

つつじ

町の木

くろまつ

町の鳥

うぐいす

ま　え　が　き

この年報は、令和元年中（一部令和元年度等）における葉山町の消防現勢や実態を収録し、今後の消防行政の参考に資すると共に、消防に対する関心と認識を深めていただくことを目的として編集したものです。

なお、気象統計は消防署の観測によるものです。

令和２年７月

葉山町消防本部

目　　次

【報告編】

第１章　消防･救助活動について

火災の状況 …… 1
救助の状況 …… 1
災害への出場状況 …… 2
PA連携出場及び救命活動 …… 2
消火活動及び救助活動体制の強化 …… 2～3

第２章　多様化する災害への対応について

車両整備状況 …… 4
消防水利 …… 4
ＮＢＣ災害への対応 …… 4

第３章　救急活動について

救急業務の実施状況 …… 5
救急業務高度化の推進 …… 5～6
応急手当の普及啓発 …… 6

第４章　通信指令業務について

消防指令センター …… 7
119 番通報受信状況 …… 8
ファクスからの 119 番通報 …… 8
インターネットを利用した 119 番通報 …… 8
町民への災害発生情報の提供 …… 9

第５章　予防行政について

火災予防広報関係 …… 10
防火対象物関係 …… 11
危険物関係 …… 11～12

住宅防火対策の推進 …… 12

第６章　消防団の活動について

葉山町消防団の紹介 …… 13
消防団の主な活動 …… 13
令和元年度に実施した主な活動 …… 13
消防団員の募集 …… 13
消防団協力事業所表示制度 ……13～14
葉山町学生消防団活動認証制度 …… 14

【資料編】

葉山町消防本部・葉山町消防団のあゆみ …… 15～33

町勢

位置 …… 34
面積・人口・世帯数 …… 35
地区別情勢 …… 35
人口の推移 …… 36

消防情勢

消防本部・署・団設置 …… 37
消防本部・署機構図 …… 37
消防本部事務分掌 …… 38～39
消防署事務分掌 …… 39～40
消防本部・署・団情勢調 …… 41
消防本部・署・団車両等一覧表 …… 41
消防本部・団本部署所配置図 …… 42

庶務関係

消防予算額 …… 43
町予算と消防予算の比 …… 43
消防費と人口・世帯の比 …… 43

消防職員定員・実員 …… 44
消防職員年齢 …… 44
消防職員勤続年数 …… 44
教育実施状況 …… 45
特殊技能資格者 …… 46

警防関係

火災概況 …… 47
火災別比較 …… 47
出火原因別火災発生状況 …… 48
火災発生状況 …… 49
火災覚知方法時間別状況 …… 50
地区別火災発生状況 …… 51
時間別火災発生状況 …… 52
消防署の消防車両等の出場状況 …… 53
消防署出場件数前年比較(30 年中・令和元年中) …… 54～55
令和元年中出場件数 …… 56
山中救助概要 …… 57
年別所要時間別(覚知～救出完了)件数 …… 57
消防本部・署現有車両機械 …… 58
警防用機器資材 …… 59～60
消防水利現勢 …… 61
空地の枯草繁茂状況及び刈取り状況調査結果 …… 62
過去 3 年間の枯草繁茂状況 …… 62

指令関係

消防本部・署・団の通信施設 …… 63
消防通信システム系統図 …… 64
消防本部・署・指令センター回線一覧表 …… 65
消防本部・署・指令センター通信機器一覧表 …… 66
無線局配置状況 …… 67
防災行政無線システム構成図 …… 68

防災通信機器等一覧表 …… 69～70
消防団通信機器等一覧表…… 71
119 番着信件数(固定･IP 電話)…… 72
119 番着信件数(携帯電話) …… 72
NET119 を利用しての 119 番通報件数 …… 72
NET119 登録者数 …… 72

気象関係

月別気象調 …… 73
風向頻度調 …… 74

予防関係

防火対象物・防火管理者選任状況 …… 75
3 階建て以上防火対象物状況 …… 76
防火対象物届出状況 …… 77
その他届出状況 …… 78
危険物関係届出状況 …… 79
火災予防査察実施状況 …… 80
危険物施設状況 …… 81
地区別危険物施設状況 …… 82
地区別危険物貯蔵取扱状況 …… 82
危険物施設許認可処理状況 …… 83
用途別建築同意等事務処理状況 …… 84
地区別消防同意・確認通知・計画通知状況 …… 85
過去 5 年間の消防同意・確認通知・計画通知状況 …… 85

救急関係

救急概況 …… 86
町内外在住別搬送人員状況 …… 86
傷病程度別搬送人員状況 …… 86
発生日別状況 …… 86
救急救命士資格者及び再教育実施状況 …… 86

救急出場・搬送人員状況 …… 87
月別救急出場・搬送人員状況 …… 88
過去５年間の救急出場・搬送人員状況 …… 89
過去５年間の救急出場・搬送人員状況の推移 …… 89
町内外在住別救急搬送人員状況 …… 90
時間別救急出場状況 …… 90
曜日別救急出場状況 …… 91
覚知別救急出場状況 …… 91
地区別救急出場状況 …… 91
年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況 …… 92
救急隊員の行った応急処置 …… 93
収容状況 …… 94
医療機関紹介状況 …… 94
応急手当普及啓発活動実施状況 …… 94
応援救急出場件数 …… 95
受援救急件数 …… 95

救助関係

救助概況 …… 96
救助出場人員・活動人員状況 …… 96
発生場所別救助人員状況 …… 96
救助出場車両・活動車両状況 …… 97
発生場所別救助出場(活動)状況 …… 97
時間別救助出場(活動)状況 …… 98
地区別救助出場状況 …… 98

消防団関係

消防団組織図 …… 99
消防団員定員・実員 …… 99
消防団員報酬 …… 99
消防団員出動費用弁償 …… 99
消防団詰所所在地 …… 100

消防団員配置 …… 100
消防団員年齢 …… 101
消防団員勤続年数 …… 102
消防団出場状況 …… 102
消防団現有車両機械 …… 103
消防団備品配置 …… 104

報　告　編

第１章　消防・救助活動について

令和元年中

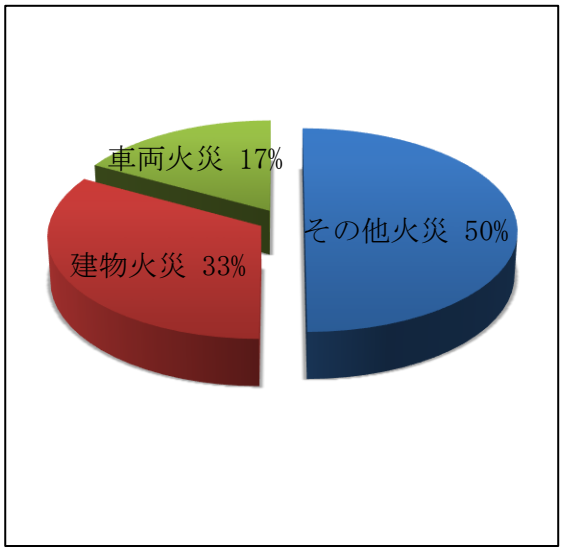
１　火災の状況

●　火災件数

令和元年中の火災発生件数は 6 件です。

火災種別ごとに見てみると、建物火災 2 件、車両火災 1 件、その他火災が 3 件で、林野火災、船舶火災、航空機火災の発生はありません。

火災種別ごとの比較は右図のとおりです。



火災別比較

●　建物焼損面積と火災損害額

令和元年中の建物火災による焼損面積は 101 ㎡、損害額は 43,595 千円です。

●　出火原因

令和元年中の出火原因は、放火、放火の疑い、半断線により発熱する、不明となっています。

各家庭、各個人が火災への意識を高めていただくことが必要です。

●　火災による死傷者

令和元年中の火災による死者、負傷者は、建物火災よる死者 2 名となっています。

２　救助の状況

●　救助出場について

令和元年中の救助出場件数は 17 件で、そのうち 16 人を救出しています。

内訳は、火災 1 件、水難事故 4 件、建物等による事故 6 件、山岳事故等を含むその他の事故が 6 件です。

救助出場件数、救出人員内訳は下表のとおりです。

令和元年中

	出場件数（件）	救出人員（人）
火災	1	2
水難事故	4	2
建物等による事故	6	7
その他の事故	6	5
合計	17	16

救助出場件数及び救出人員内訳

３　災害への出場状況

●　消防隊の活動について

令和元年中の消防隊は、火災や救助、傷病者の搬送支援や救命活動といった救急隊の活動を消防隊が支援する PA 連携出場など、さまざまな災害に出場しています。

種別ごとの出場状況は下表のとおりです。

令和元年中

内訳	出場件数（件）	出場人員（人）	出場車両（台）
火災	6	126	35
救助	17	212	67
危険排除	14	103	38
偵察	34	204	71
調査	7	34	13
PA連携出場	143	660	270
その他	1	2	1

消防隊等出場状況

※火災及び救助出場にあっては、他市消防(局)本部、消防団員及び消防団車両を含みます。

４　PA 連携出場及び救命活動

救急出場件数の増加を踏まえ、救急活動における搬送時間の短縮を図るため、PA 連携出場の運用を行っています。PA 連携出場とは、救急隊員のみでは対応が困難な事態に備えるため、要請の内容から必要と認められる場合には、救急車に加えて消防車を同時に出場させ、救急隊と消防隊とが連携した救急活動を行うものです。

令和元年中の PA 連携出場の出場種別ごとの件数は、救命 84 件、特定 59 件となっています。

PA 連携出場の出場基準は、次のとおりです。

(1)　救命

119 番通報の状況から心肺機能停止状態が予想され、迅速な救命措置等が必要な場合。

救急隊現場到着時に、心肺機能停止状態であり、迅速な救命措置が必要な場合。

(2)　特定

中高層マンションや海水浴場など、救急隊員だけでは傷病者の搬送が困難な場合。

交通量が多い道路での交通事故で、傷病者や救急隊員等の安全を確保する必要がある場合。

傷害事件などで、傷病者や救急隊員を保護する必要がある場合。

５　消火活動及び救助活動体制の強化

近年の複雑多様化する消防活動の困難性や危険性の増大に対し、消火・救助活動体制を強化するため、平成 24 年度から大型照明・クレーンを装備した救助工作車を運用しています。また、平成 27 年度からは、CAFS 付ポンプ自動車の運用を開始しています。

救助活動現場も都市型へと変化し、特殊災害への対応も必要不可欠となっています。装備の充実や隊員の育成が求められており、消防学校や各種教育機関へ隊員を派遣し、年間を通して実践的な訓練を計画的に行っています。

また、広域化する災害に対しては、他機関と合同での活動が必要不可欠であり、

災害の規模や状況に応じた的確な活動が要求されています。

水難事故においても、初動体制の充実が重要になり、早期に活動できるよう平成 22 年度から水難救助活動装備を配備し、海水浴シーズンは海上警備を行っています。

第２章　多様化する災害への対応について

１　車両整備状況

当町(1 本部 1 署)では、火災の予防、警戒、鎮圧、救急業務や人命救助等の災害に備え、人口や地勢等の実情を勘案し、必要な車両を配備しています。

令和 2.4.1 現在

車種	台数
指揮車	1
消防ポンプ自動車	2
救助工作車	1
高規格救急自動車	2
非常用救急自動車	1
機動積載車	1
機動車	1
資材搬送車	2
二輪車	2
総数	13

保有車両

高規格救急自動車

２　消防水利

消防水利は、消火活動を行う上で、なくてはならないもので、その種類には、消火栓、防火水槽、河川、池、プール、井戸等があります。

これらの配置等は国の基準である「消防水利の基準」で定められており、最も活用されているのは、消火栓と防火水槽です。

● 消火栓は水道配管に取り付けられているもので、町内に 449 基(令和 2 年 4 月 1 日現在、私設含む)を道路歩道上等に設置しています。

● 防火水槽は町内に 160 基(令和 2 年 4 月 1 日現在、私設含む)を設置しています。

水道の断水・減水時や大地震時に消火栓が使用できないときの備えとして整備し、現在では、耐震性防火水槽の整備に努めています。

３　ＮＢＣ災害への対応

NBC 災害とは放射性物質(Nuclear)、生物剤(Biological)、化学剤(Chemical)による特殊災害のことをいいます。この特殊災害に対応するため、NBC 対応資機材を保有しています。

令和 2.4.1 現在

対応資機材	個数
有毒ガス測定器	1
複合型ガス測定器	3
放射線測定器	3
個人用線量計	17
放射線防護服	5
陽圧式化学防護服	2
化学防護服	39

保有 NBC 対応資機材

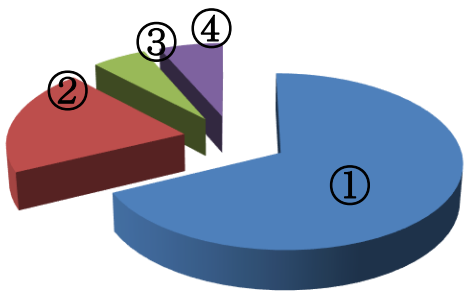
第３章　救急活動について

１　救急業務の実施状況

●　救急出場の状況

令和元年中における救急自動車による救急出場件数は 1,731 件、搬送人員は 1,643 人となっており、町民の 19 人に 1 人が救急隊によって搬送されたことになります。

事故種別ごとにみると、搬送人員数が上位のものは、急病 1,081 人（65.8%）、一般負傷 345 人（21.0%）、交通 97 人（5.9%）となっています。

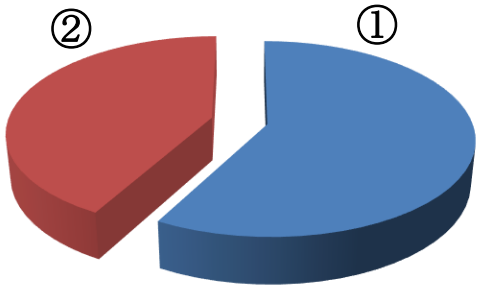


①‥急病（65.8%）　②‥一般負傷（21.0%）
③‥交通（5.9%）　④‥その他（7.3%）

事故種別ごとにみる搬送人員の状況

●　傷病程度別搬送人員の状況

令和元年中における救急自動車による搬送人員 1,643 人のうち、死亡、重症、中等症の傷病者の割合は、全体の 57.7%、入院加療を必要としない軽症の傷病者は、42.3%となっています。



①･･･死亡、重症及び中等症（57.7%）
②･･･軽症（42.3%）

傷病程度別搬送人員の状況

２　救急業務高度化の推進

●　救急救命士の処置範囲の拡大

（1）除細動

平成 3 年の救急救命士法の施行以来、医師の具体的指示の下に救急救命士が行っていた除細動は、平成 15 年 4 月から医師の包括的指示の下で行うことが可能となっています。

（2）気管挿管

平成 16 年 7 月から一定の講習と病院実習を修了し、認定を受けた救急救命士に認められています。

また、気管内チューブによる気道確保を行う場合に、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用すると気道確保の安全性や確実性が高まることから、平成 23 年 8 月から追加講習と病院実習を修了した救急救命士は、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡が使用可能となっています。

（3）薬剤投与

平成 18 年 4 月から一定の講習と病

院実習を修了し、認定を受けた救急救命士に認められています。

更に平成21年3月からアナフィラキシーショックによって生命が危険な状態にある傷病者が、あらかじめ自己注射が可能なアドレナリン製剤（エピペン）を処方されている者であった場合には、救急救命士がアドレナリン製剤（エピペン）を投与することが可能となっています。

(4) 心肺機能停止前の静脈路確保、輸液、血糖測定、ブドウ糖溶液の投与

平成26年4月から一定の講習を受講し、認定を受けた救急救命士に認められています。

三浦半島地区では平成27年10月1日から運用が開始され救命率の向上や後遺症の軽減に寄与するものと考えられます。

● メディカルコントロール体制の充実

メディカルコントロール体制とは、医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を保証する仕組みをいい、三浦半島地区（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）の医療機関と消防機関とが連携強化を図る体制が構築されています。

主な体制としては、次のとおりです。

(1) 救急救命士を含む救急隊員の行う応急処置に対しての医師の常時指示、指導、助言体制。

(2) 医師によって医学的観点から検証が行われ、反映されるための事後検証体制。

(3) 救急救命士が行う高度な救命処置等を再教育するための病院実習。

(4) 救急救命士の処置範囲拡大に伴う講習と実習。

3 応急手当の普及啓発

救急出場要請から救急隊が現場に到着するまでに要した時間は、令和元年中の平均では7.4分であり、この間に救急現場に居合わせた人による応急手当が適切に行われることで、大きな救命効果が期待されます。

当町でも救命講習の普及啓発を推進しており、実習を中心とした基本的な心肺蘇生法やAEDの安全な使用方法等について講習を行い、受講者には修了証を交付しています。講習会は、「広報はやま」等の広報誌で受講者の募集を行っています。

また、規定の講習以外にも、要望に応じた「その他の救急講習」を行っています。

救急講習会風景

第４章　通信指令業務について

１　消防指令センター

火災、救急、救助等の出場は、そのほとんどが町民等からの 119 番通報から始まります。

当町は、横須賀市と三浦市が平成 25 年 4 月から行っている 119 番通報の受付、消防車・救急車の出場指令を共同で行う「消防通信指令事務の共同運用」に平成 27 年 4 月１日から参画しています。

消防指令システムでは、119 番通報を受信すると、統合型位置情報システムと地図等検索装置によって、瞬時にその通報場所の地図を表示し、災害種別の決定と同時に予告指令を行い、災害通報を受信中であることを通知して消防署に出場準備を促します。

消防指令システムは、すべての車両の位置等を常時把握しており、災害現場に最も早く到着できる出場隊を自動的に編成し、消防署へ出場指令の放送と指令書の出力を行います。

各車両に搭載している車両運用端末装置には、出場指令と同時に災害現場の地図と指令情報を表示させ、活動中には防火対象物、危険物、水利、災害時要援護者等の支援情報を表示し、消防隊・救急隊は、これらの情報を活用して的確な現場活動を行っています。

横須賀市・葉山町消防指令センター

２　119 番通報受信状況

令和元年中の町内からの 119 番通報は 2,601 件あり、１日平均約７件、約 206 分に１件の割合で 119 番を受信しています。

そのうち、固定電話(NTT 東日本)からの通報は 483 件（19%)、IP 電話(NTT 以外の有線電気通信)からの通報は 947 件（36%)、携帯電話からの通報は 1,171 件（45%）となっており、固定電話、IP 電話を合わせた「有線電話」が約 55%、携帯電話が 45%と携帯電話が約半数となっています。

受信内容は、火災、救急、救助等への出場要請が 1,862 件で 71.6%を占めていますが、特に緊急性のない災害・病院等の問い合わせ、いたずら、間違い・無言等の件数（訓練・試験を除く）が 559 件あり、全体の 2 割を占めていることから、適切な 119 番通報を心がけるよう呼びかけています。

令和元年中

		119 番全体	固定電話	IP 電話	携帯電話
緊急性あり	火災	9	5	0	4
	救急	1,718	255	766	697
	救助	9	3	1	5
	その他災害	58	15	15	28
	他都市転送	68	0	1	67
	小計	1,862	278	783	801
緊急性なし	問い合わせ	144	10	51	83
	いたずら	4	0	0	4
	間違い、無言	92	11	14	67
	その他	319	69	58	192
	小計	559	90	123	346
その他	訓練	148	91	40	17
	試験	32	24	1	7
	小計	180	115	41	24
合計		2,601	483	947	1,171

３　ファクスからの 119 番通報

耳や言葉の不自由な方から、火災、救急、救助等の出場要請を受信するため、119 番専用回線によるファクス通報を運用しています。更に平成 27 年 4 月 1 日から位置情報通知システムを活用し、より迅速な対応を図っています。

４　インターネットを利用した 119 番通報

聴覚障害がある方や音声による緊急通報が困難な方が、携帯電話やスマートフォンで消防に緊急通報を行うことができる「Web（ウェブ）119 サービス」の運用を平成 26 年 7 月 1 日から開始していましたが、新たに「NET（ネット）119 サービス」に平成 29 年 12 月に移行しています。

このサービスは、事前登録した携帯電話やスマートフォンから、簡単なボタン操作で GPS による位置情報を付加した緊急通報を行うことができ、その通報は、消防指令センターで受信します。

消防指令センターと通報者が文字で対話する機能（チャット機能）を使用し、通報場所の特定や状況の把握をより詳細に行うことができます。

５　町民への災害発生情報の提供

消防指令センターでは、消防車がサイレンを吹鳴して緊急走行する災害事案について、災害発生場所や活動状況等を消防本部テレホンガイドとホームページでリアルタイムに案内しています。

災害情報のご案内

テレホンガイド

０４６－８２４－８１１９

ホームページ

http://hayama.fire.yokosuka.kanagawa.jp/saigai/hayama.html

病院のご案内

葉山町消防本部

０４６－８７６－０１１９

第５章　予防行政について

１　火災予防広報関係

町民の生命・身体・財産を火災から未然に防ぐため、さまざまな広報活動を行い、防火意識の向上を図っています。

●　火災予防運動

春、秋の火災予防運動期間中、消防車両による町内巡回広報や懸垂幕、のぼり旗、消防庁舎に設置した電光掲示板による防火広報を行っています。

●　町内防火パレード

秋の火災予防運動期間中、消防団の協力のもと消防車両による町内全域の防火パレードを行い、町民の火災予防の意識高揚を図っています。

●　消防フェア

秋の火災予防運動期間中、町内の複合施設において、消防フェアを行っています。消防車両の展示や救命講習、住宅防火に関する広報等を行うことで、消防業務への理解と火災予防の啓発に努めています。

●　山火事防止

ハイキングコースを巡回し、山火事防止看板の点検を行うとともに、老朽化した看板は適宜交換しています。また、コース内にある可搬ポンプの点検を行い、山火事防止に努めています。

●　防火ポスターコンクール

幼少年期の防火意識の啓発や向上を目的に町内小学 4 年生を対象とした防火ポスターコンクールを行っています。令和元年度は 223 作品の応募があり、応募いただいた作品は町教育総合センター「学びの広場」で展示会を行い、また、優秀な作品の中から住

宅用防災機器等普及啓発用広報ポスターを作製し、公共施設や町内物販店舗等に掲出するなど、町民の方々に広く火災予防を呼びかけています。

２　防火対象物関係

町内における防火対象物の消防用設備等設置検査や消防訓練時に積極的に立会を行い、消火、避難、通報訓練の指導を行うとともに、関係者への防火指導や防火教育を行い、防火対象物の火災を未然に防げるよう努めています。

●　防火対象物査察

年間を通して町内の集会所・飲食店・物品販売店舗・宿泊施設・福祉施設・その他の防火対象物の査察を積極的に行っています。

消防用設備等の維持管理、避難施設の管理状況、防火管理体制等を確認し、消防法令違反に対しての是正指導を行い、安心安全な町づくりに努めています。

３　危険物関係

町内で危険物を貯蔵・取扱う施設等からの火災や流出事故を未然に防ぐことを目的とする取組みを行っています。

●　危険物安全週間

消防車両による広報活動や懸垂幕、のぼり旗による防火広報を行っています。また、期間中に消防本部において葉山町危険物安全協会会員を対象に安全研修会を行っています。

● 危険物施設査察

危険物施設からの火災や流出事故を未然に防止することを目的として町内の危険物施設の査察を行っています。

● 路上査察等

秋の火災予防運動期間中、危険物移動タンク貯蔵所や危険物運搬車両による事故を未然に防止するため、常置場所や消防庁舎前において査察を行っています。

4 住宅防火対策の推進

建物火災のうち住宅火災の占める割合は高く、多くの高齢者が犠牲となっています。住宅火災による死者の発生を防止するため、住宅防火対策への取組みを行っています。

● 住宅用防災機器等

住宅における出火防止や消火・避難等の対策には、安全装置が設置されている暖房器具・調理器具の使用や住宅用消火器・エアゾール式簡易消火具・住宅用自動消火装置・住宅用スプリンクラー設備等の設置が有効と考えられることから、これらの普及について積極的に推奨していきます。

● 住宅用火災警報器

平成28年6月で住宅用火災警報器の設置義務化から10年を迎えました。しかしながら、いまだに未設置世帯が2割程度ある状況です。今後も未設置世帯に対し住宅用火災警報器の重要性を訴え早期の設置を促します。また、既に設置している世帯には、定期的な点検など、適正な維持管理を呼びかけるとともに、連動型住宅用火災警報器へ交換するよう推奨し、町民の生命や財産を火災から守れるよう努めていきます。

第６章　消防団の活動について

１　葉山町消防団の紹介

消防団の活動は、特別なことではありません。「自分たちのまちは自分たちで守る」その意識だけで参加できます。町内でも、会社員、自営業、いろいろな方が地域の分団（木古庭・上山口・下山口・一色・堀内・長柄）に入団し活動しています。

２　消防団の主な活動

●　町内で火災が発生した場合、消防署の消防隊と同時に出場し、消火作業にあたります。

●　台風等の警戒や実際に被害が発生した場合の出場に備え、各詰所に参集します。

●　管内消防水利（消火栓、防火水槽等）の点検・把握を行っています。

●　その他に、各分団長が計画する訓練等を行っています。

３　令和元年度に実施した主な活動

●　消防団員教育研修（通年）

●　ポンプ性能検査（5、6 月）

●　花火大会警備（7 月）

●　機関員訓練（7 月）

●　第３回葉山町消防操法大会（9 月）
　　最優秀賞　第 3 分団
　　優 秀 賞　第 1 分団

●　台風 15 号に伴う警戒（9 月）

●　台風 19 号に伴う警戒（10 月）

●　秋季火災予防運動（11 月）

●　防火パレード（11 月）

●　歳末火災特別警戒（12 月）

●　消防出初式（1 月）

●　春季火災予防運動（3 月）

第 3 回葉山町消防操法大会（最優秀賞 第 3 分団）

４　消防団員の募集

平成 17 年 4 月 1 日から消防団員任命資格が改正され、当町在勤者につきましても入団ができるようになっています。当町に在住・在勤されている方で、通常は各自の職業に従事しながら火災・風水害・地震等の災害に際して消防活動に従事する消防団員を募集しています。

５　消防団協力事業所表示制度

当町では、消防団員の約 65％が被用者であることから、消防団員を雇用する事業所の消防団活動への一層の理解と協力を得る

ため、消防団活動に協力している事業所を顕彰する「消防団協力事業所表示制度」を行っています。「消防団協力事業所表示制度」とは、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度です。「消防団協力事業所」として認められた事業所は、取得した表示証を社屋に提示でき、表示証のマークを自社ホームページ等で広く公表することができます。

6　葉山町学生消防団活動認証制度

当町では、消防団員の高齢化が進んでいることから、若い世代の入団を促進することを目的に葉山町学生消防団活動認証制度を導入しています。

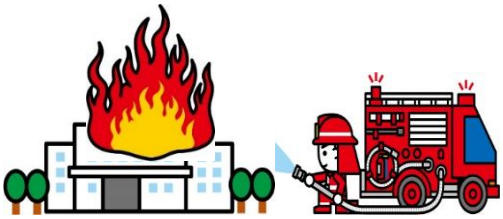
この制度は、葉山町消防団員として消防団活動を行ってきた学生の功績を当町が認証し、就職活動等において、町が交付する『学生消防団活動認証証明書』を企業等へ提出し、消防団として社会貢献してきた実績を評価してもらえるようアピールすることができる制度です。

対象は、当町に居住する 18 歳以上の学生等で、当町の消防団に所属し、1 年以上継続的に消防団活動を行った方です。

町を守る。安心をつくる。

消防団員募集中！

『消防団は、地元の消防・防災にとって欠かせない重要な活動です。町内在住・在勤の 18 歳以上の心身ともに健康な方の入団をお待ちしています。』



お問い合わせは
葉山町消防本部　消防総務課
TEL 046－876－0146

資　料　編

葉山町消防本部・葉山町消防団のあゆみ

昭和 22 年 （1947）	消防団令が公布される。 「葉山町警防団」は「葉山町消防団」に改称される。 初代消防団長　佐川正雄　就任 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 35 名、副班長 35 名、団員 237 名、計 323 名 消防ポンプ自動車　　1 台 三輪消防ポンプ自動車　1 台 腕用ポンプ　　8 台
昭和 23 年 （1948）	御用邸より手びきガソリンポンプ 1 台を借用し、下山口に配置する。 消防団の定員を改正する。 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 35 名、団員 342 名、計 393 名
昭和 25 年 （1950）	小型動力ポンプ（トーハツ VD-50）C-2 級 3 台を購入し、木古庭、上山口、長柄に配置する。
昭和 26 年 （1951）	第 2 代消防団長　矢嶋儀助　就任 腕用ポンプ 2 台を廃棄する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を購入し、下山口に配置する。
昭和 27 年 （1952）	御用邸より借用していた手びきガソリンポンプを返納する。 三輪消防ポンプ自動車（52 年式ニッサン R2B）2 台を購入し、下山口、一色に配置する。 上山口の消防器具置場を移転改修する。 下山口に配置の小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を上山口分教場に配置替えする。 一色に配置の三輪消防ポンプ自動車（36 年式フォード）を長柄に配置替えする。
昭和 29 年 （1954）	小型動力ポンプ（トーハツ VD-50）C-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車（37 年式ダッヂ）の修理改造を行う。

昭和30年 (1955)	第3代消防団長　伊原　若　就任
昭和31年 (1956)	木古庭の消防器具置場を増築する。 木古庭と長柄にサイレンを設置する。 消防ポンプ自動車（38年式フォード）1台を購入し、木古庭に配置する。
昭和32年 (1957)	腕用ポンプ5台を廃棄する。
昭和33年 (1958)	小型動力ポンプ（トーハツ VF-3）B-3級1台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ（トーハツ VD-50、トーハツ VF-48）2台を廃棄する。 消防ポンプ自動車（トヨタ FC70型）A-2級1台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車（37年式ダッヂ）を一色に配置替えする。 一色に配置の三輪消防ポンプ自動車（52年式ニッサン R2B）を長柄に配置替えする。 長柄に配置の三輪消防ポンプ自動車（36年式フォード）を廃車する。
昭和34年 (1959)	小型動力ポンプ積載用として、三輪車（マツダ 56CLY81型）1台を購入し、上山口に配置する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3級1台を購入し、一色に配置する。 小型動力ポンプ（トーハツ VE-3）C-2級1台を購入し、下山口に配置する。 長柄に詰所を新築する。（木造平屋建、34.65㎡）
昭和35年 (1960)	消防団の定員を改正する。 団長1名、副団長2名、分団長6名、副分団長7名、班長26名、団員156名、計198名 消防ポンプ自動車　3台 三輪消防ポンプ自動車　2台 小型動力ポンプ　7台 三輪積載車　1台

昭和36年 （1961）	下山口に詰所を新築する。（コンクリートブロック2階建、延べ面積52.69㎡） 消防ポンプ自動車（ニッサンJR－FRB）A-2級1台を購入し、一色に配置する。
昭和37年 （1962）	一色に配置の消防ポンプ自動車（37年式ダッヂ）を廃車する。 小型動力ポンプ（ラビットP402-S）B-3級2台を購入し、木古庭、長柄に配置する。 木古庭、長柄に配置の小型動力ポンプ（トーハツVD-50）を廃棄する。
昭和38年 （1963）	第4代消防団長　森谷米吉　就任 小型動力ポンプ積載車（62年式プリンススーパーマイラー）2台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 下山口にサイレンを設置する。 木古庭に配置の38年式フォード消防ポンプ自動車を廃車する。
昭和39年 （1964）	葉山町役場に火災報知専用電話（119番）を設置する。 上山口に配置の三輪積載車（マツダ56CLY81型）を廃車する。 小型動力ポンプ（ラビットP402-M）B-3級1台を購入し、堀内に配置する。 一色に詰所を新築する。（コンクリートブロック2階建、延べ面積87.81㎡） 消防ポンプ自動車（ニッサンFR-40）A-2級1台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の三輪消防ポンプ自動車（52年型ニッサンR2B型）を廃車する。 堀内に配置の小型動力ポンプ（トーハツVE-50）を廃棄する。
昭和40年 （1965）	第5代消防団長　萩原宏之助　就任 消防ポンプ自動車（ニッサンFR-40）A-2級1台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の三輪消防ポンプ自動車（52年式ニッサンR2B型）を廃車する。
昭和41年 （1966）	上山口に詰所を新築する。（コンクリートブロック2階建、延べ面積91.92㎡） 小型動力ポンプ（ラビットP306）C-1級2台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 堀内に詰所を新築する。（鉄筋コンクリートブロック2階建、延べ面積107.52㎡）

昭和 42 年 （1967）	木古庭に詰所を新築する。（コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 81.98 ㎡） 長柄の詰所を増築する。（木造平屋建、68.57 ㎡） 防火水槽（40 ㎥　堀内）1 基を設置する。 消防職員　実員 1 名
昭和 43 年 （1968）	葉山町消防本部発足。（3 月 29 日、葉山町一色 2155 番地） 初代消防長　細谷辰三郎　就任 神奈川県衛生部より救急自動車（トヨタダイナ 43RK-171V 改）1 台を消防本部に貸与され、救急業務を開始する。 小型動力ポンプ（ラビット P306）C-1 級 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防ポンプ自動車（ニッサン FR-40E）A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車（トヨタ FC70 型）を廃車する。 消防職員　実員 12 名
昭和 44 年 （1969）	小型動力ポンプ（ラビット P403-M）B-3 級 2 台を購入し、木古庭、一色に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ（ラビット P402-S）を廃棄する。 一色に配置の小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）を廃棄する。 消防本部に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）と、一色に配置の小型動力ポンプ（ラビット P403-M）を配置替えする。 防火水槽（40 ㎥　下山口、長柄）2 基を設置する。 消防ポンプ自動車（トヨタ FJ-55）A-2 級 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防職員　実員 15 名
昭和 45 年 （1970）	指令車（ニッサンプリンスグロリア HA-30）1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防無線を設置する。 基地局 1 基 10W、移動局 3 基 10W、携帯 2 基 1W 葉山町消防庁舎落成（4 月 1 日　葉山町堀内 2050 番地　鉄筋コンクリート 3 階建、延べ面積 521.972 ㎡） 防火水槽（40 ㎥　木古庭、堀内）2 基を設置する。 消防ポンプ自動車　1 台 救急自動車　1 台 指令車　1 台 小型動力ポンプ　1 台 消防職員　実員 19 名

昭和 46 年 （1971）	葉山御用邸焼失（1 月 27 日） 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞTXG10）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 2 基 10W 広報車（トヨタマークⅡRT77）1 台を購入し、消防本部に配置する。 防火水槽（40 ㎥　上山口）1 基を設置する。
昭和 47 年 （1972）	救急自動車（トヨタ RH18V）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 防火水槽（40 ㎥　一色）1 基を設置する。 消防職員　実員 22 名
昭和 48 年 （1973）	防火水槽（40 ㎥　上山口）1 基を設置する。 小型動力ポンプ（ラビット P306）C-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の小型動力ポンプ（トーハツ VE-3）を廃棄する。
昭和 49 年 （1974）	消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD-Ⅰ型)A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン JR-FRB）を廃車する。 消防職員　実員 27 名
昭和 50 年 （1975）	小型動力ポンプ（ラビット P306）C-1 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の小型動力ポンプ（ラビット P402-S）を廃棄する。 消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD-Ⅰ型)A-2 級 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ積載車（62 年式プリンススーパーマイラー）を廃車する。 木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306、ラビット P402-S）を廃棄する。 消防無線機増設。携帯 2 基 1W 消防職員　実員 28 名
昭和 51 年 （1976）	日本船舶振興会より小型動力ポンプ積載車(ニッサン HF－20 改) 1 台と小型動力ポンプ(ラビット P502-S) B-2 級 1 台の寄贈を受け、一色に配置する。

昭和52年 (1977)	第6代消防団長　永津義次　就任 堀内の詰所を小型動力ポンプ積載車配置のため改築する。 小型動力ポンプ積載車（スズキキャリーH-L50改）2台を購入し、上山口、堀内に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）を堀内に配置替えする。 堀内に配置の小型動力ポンプ（ラビットP402-M）を廃棄する。 日本消防協会より広報車（三菱ギャランH-A112V改）1台の寄贈を受け、消防本部に配置する。 消防本部に配置の広報車（トヨタマークⅡRT77）を廃車する。 指令車（トヨタマークⅡE-MX40）1台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の指令車（ニッサンプリンスグロリアHA-30）を廃車する。 積載車（ダイハツS60PD）1台を購入し、消防署に配置する。 固定局を設置する。1基10W 無線式サイレン吹鳴装置を設置する。 消防職員　実員33名
昭和53年 (1978)	消防ポンプ自動車(ニッサンFHN60BD-Ⅰ型)A-2級1台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサンFR-40)を廃車する。 消防無線機増設。携帯1基1W 救急自動車(トヨタRH42VB-J)1台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車(トヨタダイナRK-171V)を廃車する。 防火水槽（40㎥　堀内）1基を設置する。 消防職員　実員34名
昭和54年 (1979)	消防ポンプ自動車(ニッサンFHN60BD-Ⅰ型)A-2級1台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車（ニッサンFR-40）を廃車する。 消防無線機増設。移動局1基10W 街頭消火器（20型ABC粉末）80基を堀内、一色に設置する。
昭和55年 (1980)	第2代消防長　尾﨑　昇　就任 消防ポンプ自動車（ニッサンFH61BD-Ⅰ型）A-2級1台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車（トヨタFJ-55）を廃車する。 街頭消火器（20型ABC粉末）70基を堀内、一色、下山口に設置する。 防火水槽（40㎥　上山口、下山口、堀内）3基を設置する。

昭和 56 年 （1981）	水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル K-CM85C 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車（いすゞTXG10）を廃車する。 防火水槽（40 ㎥　堀内）1 基を設置する。 街頭消火器（20 型 ABC 粉末）80 基を堀内に設置する。 小型動力ポンプ（トーハツ V30AS）B-3 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ（ラビット P402-M）を廃棄する。 小型動力ポンプ（トーハツ V15A）C-1 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）を廃棄する。
昭和 57 年 （1982）	消防ポンプ自動車（トヨタ FJ60V 改 BD-Ⅰ型）A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FR-40）を廃車する。 小型動力ポンプ（トーハツ V30AS）B-3 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）を廃棄する。 街頭消火器（20 型 ABC 粉末）83 基を一色、堀内、長柄に設置する。 消防無線機増設。基地局 1 基 10W　予備機、携帯 1 基 5W
昭和 58 年 （1983）	救急自動車（トヨタ L-YH71VB）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車（トヨタ RH18V）を廃車する。 小型動力ポンプ（トーハツ V30AS）B-3 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ（ラビット P402-M）を廃棄する。 広報車（ニッサンブルーバード L-VJ910 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防本部に配置の広報車（三菱ギャラン H-A112V 改）を廃車する。 街頭消火器（20 型 ABC 粉末）81 基を一色、堀内に設置する。
昭和 59 年 （1984）	街頭消火器（20 型 ABC 粉末）208 基を木古庭、上山口、下山口、一色、堀内、長柄に設置する。
昭和 60 年 （1985）	第 3 代消防長　小峰和夫　就任 第 4 代消防長　鈴木寶三郎　就任 軽トラック（ダイハツ M-S664WD）1 台を購入し、消防本部に配置する。 指令車（ニッサンブルーバード E-U11 改）1 台を購入し、消防本部に配置する。

	消防本部に配置の指令車（トヨタマークⅡE-MX40）を廃車する。 積載車（三菱 M-U11V 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車（ダイハツ S60PD）を廃車する。
昭和 61 年 （1986）	第 7 代消防団長　石川清治　就任 救急自動車（トヨタ L-YH71VB）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車（トヨタ RH42VB-J）を廃車する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 長柄に詰所を新築する。（鉄骨平屋建、93.61 ㎡）
昭和 62 年 （1987）	小型動力ポンプ（富士ロビン P303BS）C-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）を廃棄する。 消防救急指令装置（富士通ゼネラル HA-305）、無線統制台（富士通ゼネラル RC-6033）を導入し、運用開始する。 葉山町防災行政無線遠隔制御装置を設置する。 消防職員　実員 38 名
昭和 63 年 （1988）	第 8 代消防団長　矢島正治　就任 小型動力ポンプ（ラビット P303BS）C-1 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）を廃棄する。 消防ポンプ自動車（ニッサン FGY60 改 BD-Ⅰ型）A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD-Ⅰ型）を廃車する。
平成元年 （1989）	広報車（スバルレガシィ E-BF3 改）1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の広報車（ニッサンブルーバード L-VJ910 改）を廃車する。 小型動力ポンプ（トーハツ T66B4）C-1 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ（ラビット P502-S）B-2 級を廃棄する。 小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S80P 改）1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ積載車（ニッサン HF-20 改）を廃車する。 消防ポンプ自動車（ニッサン T-FGY60 改）A-2 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD-Ⅰ型）A-2

	級を廃車する。 防火水槽改修を行う。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W
平成 2 年 (1990)	消防団車両 9 台に消防無線受令機を設置する。 救急自動車（トヨタ U-LH129S）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W、携帯 1 基 5W 小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S82P 改）1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ積載車（スズキキャリーH-L50 改）を廃車する。 消防ポンプ自動車（ニッサン T-FGY60 改）A-2 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD-Ⅰ型）を廃車する。 消防ポンプ自動車（三菱 U-FG337C 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FH61BD-Ⅰ型）を廃車する。 木古庭の詰所を移転新築する。（鉄骨 2 階建、延べ面積 177.493 ㎡） 第 37 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 消防職員　定員 40 名　実員 40 名
平成 3 年 (1991)	第 5 代消防長　大竹二郎　就任 小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S83P 改）1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ積載車(スズキキャリーH-L50 改)を廃車する。 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞU-FRR32DBV 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル K-CM85C 改）を廃車する。 消防職員　定員 40 名　実員 40 名
平成 4 年 (1992)	機構改革により消防本部に防災係を設置する。 防災車（トヨタ L-KE72V）1 台を消防本部に配置する。 第 38 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 消防職員　定員 43 名　実員 43 名
平成 5 年 (1993)	第 10 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　ほふく救出）

	第18回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　ほふく救出） 積載車（三菱V-U42V改）1台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車（三菱M-U11V改）を廃車する。 「甲部隊」「乙部隊」を「第1警備隊」「第2警備隊」に改称する。 消防ポンプ自動車（ニッサンFGY60改）A-2級1台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD-Ⅰ型）を廃車する。 本団、各分団に消防無線を設置する。携帯 15 基（5W3 基、1W12 基） 消防職員　定員43名　実員43名
平成6年 （1994）	防災車（トヨタ U-LH119V 改）1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の防災車（トヨタL-KE72V）を廃車する。 葉山町防災行政無線増設。携帯2基5W 第11回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　ほふく救出） 第19回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　ほふく救出） 第39回神奈川県消防操法大会に第5分団出場する。 消防無線更新。携帯3基5W 高規格救急自動車（トヨタ Z-UZH132S）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車（トヨタL-YH71VB）を廃車する。 消防ポンプ自動車（ニッサン Z-FGY60）1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車（ニッサンFHN60）を廃車する。 消防職員　定員47名　実員46名
平成7年 （1995）	第6代消防長　髙木太郎　就任 消防庁舎新築工事着工 兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）発生に伴い4名を派遣する。（第1次派遣隊、第2次派遣隊共に兵庫県兵庫消防署へ派遣） 第12回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　ほふく救出） 第20回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　ほふく救出） 消防ポンプ自動車（ニッサンZ-FGY60改）1台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車（トヨタFJ60V改）を廃車する。教材用として葉山小学校へ寄贈する。 消防職員　定員47名　実員47名

平成８年 （1996）	新葉山町消防庁舎落成（11 月 24 日　葉山町堀内 2050 番地　鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上３階地下１階、救助訓練施設併設、延べ面積 2,558.77 ㎡） 消防緊急通信指令装置Ⅰ型（富士通ゼネラル H-315）を整備し、運用を開始する。 無線式サイレン吹鳴装置を更新整備する。 防火水槽（40 ㎥　堀内）１基を設置する。 旧消防庁舎を解体する。 小型動力ポンプ（ラビット P380LM）C-1 級２台を購入し、上山口、堀内に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ（トーハツ V15A）C-1 級を廃棄する。 堀内に配置の小型動力ポンプ（トーハツ V15AS）C-1 級を廃棄する。 小型動力ポンプ（ラビット P475S－DX・V）B-3 級１台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ（トーハツ V30AS）B-3 級を廃棄する。 軽トラック（スバル V-KS4 改）１台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の軽トラック（ダイハツ M-S664WD）を廃車する。 第 13 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　ほふく救出） 第 21 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　ほふく救出） 第 40 回神奈川県消防操法大会に第６分団出場する。 消防職員　定員 47 名　実員 47 名
平成９年 （1997）	日本損害保険協会より救助工作車（ニッサンディーゼル KC-MK211EH 改）１台の寄贈を受け、消防署に配置する。 広報車（ミツビシ E-CD5W 改）１台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の指令車（ニッサンブルーバード E－U11 改）を廃車する。 消防本部に配置の広報車（スバルレガシーE-BF3 改）を廃車する。 第 14 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過） 第 22 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過） 消防無線機増設。移動局１基 10W、携帯２基 5W 消防無線全国波を導入する。 下山口の詰所を移転新築する。（鉄骨１階建、85.05 ㎡） 下山口に防火水槽（40 ㎥）１基、一色に防火水槽（20 ㎥）１基を

	設置する。 消防職員　定員 47 名　実員 47 名
平成 10 年 （1998）	第 7 代消防長　本田恒雄　就任 葉山町女性防火防災クラブ発足　78 名 第 15 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ロープブリッジ渡過） 第 23 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ロープブリッジ渡過） 第 41 回神奈川県消防操法大会に第 1 分団出場する。 消防署に配置の救急自動車（トヨタ L-YH71VB）を廃車する。 小型動力ポンプ（富士ロビン P380）C-1 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ（トーハツ V30AS）B-3 級を廃棄する。 防火水槽（40 ㎥：下山口、一色　20 ㎥：一色 2 基、堀内、長柄）6 基を設置する。 葉山町行政改革大綱に基づき、課制を導入。 消防本部 1 課（消防総務課）、消防署 2 課（警備第 1 課、警備第 2 課）に改める。 小型動力ポンプ（ラビット P265M 型）D-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 消防職員　定員 47 名　実員 47 名
平成 11 年 （1999）	下山口に配置の小型動力ポンプ（富士ロビン P303BS）C-1 級を廃棄する。 第 16 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ロープブリッジ渡過） 第 24 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ロープブリッジ渡過） 上山口の詰所を新築する。（鉄骨 2 階建、延べ面積 117.75 ㎡） 消防職員　定員 47 名　実員 46 名
平成 12 年 （2000）	第 17 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　ロープブリッジ渡過） 第 25 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過） 第 42 回神奈川県消防操法大会に第 2 分団出場する。 高規格救急自動車（トヨタ GE-VCH32S）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防職員　定員 47 名　実員 46 名

平成 13 年 (2001)	第 8 代消防長　行谷正道　就任 消防署に配置の救急自動車（トヨタ U-LH129S）を廃車する。 一色の詰所を移転新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 117.75 ㎡) 第 18 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過） 第 26 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過） 消防ポンプ自動車（日野 KK-XZU371M 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車（三菱 U-FG337C 改）を廃車する。 湘南国際村内消火栓 8 基（上山口 5 基、下山口 3 基）葉山町に帰属する。 消防職員　定員 47 名　実員 46 名
平成 14 年 (2002)	第 9 代消防団長　伊東正悦　就任 第 19 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　ロープブリッジ救出） 第 27 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　ロープブリッジ救出） 第 43 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 消防職員　定員 47 名　実員 46 名
平成 15 年 (2003)	第 10 代消防団長　石井建一　就任 堀内の詰所を移転新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 113.96 ㎡) 第 20 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　ロープブリッジ救出） 第 28 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　ロープブリッジ救出） 消防ポンプ自動車（日野 KK-FD1JEEA 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車（いすゞU-FRR32DBV 改）を廃車する。 消防ポンプ自動車（三菱 KK-FE73ECY）A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FGY60 改 BD-Ⅰ型）を廃車する。 防災資機材搬送車（ニッサン LC-VPE25）1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の防災車（トヨタ U-LH119V 改）を廃車する。 消防職員　定員 47 名　実員 46 名

平成 16 年 (2004)	第 9 代消防長　石屋　博　就任 葉山町消防団 OB 会発足。 第 21 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん） 第 29 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、基本泳法） 第 44 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 高規格救急自動車(ニッサン TC-FPGE50 改)1 台購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の高規格救急自動車（トヨタ Z-UZH132S）をパラオ共和国に贈与する。 消防ポンプ自動車（日野 KK-FD1JEEA 改）A-2 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の消防ポンプ自動車(いすゞU-FRR32DBV 改)を廃車する。 2 交替勤務から 3 交替勤務に移行する。 消防職員　定員 47 名　実員 47 名
平成 17 年 (2005)	第 22 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん） 第 30 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん） 消防ポンプ自動車（日野 PD-XZU304E 改）A-2 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン T-FGY60 改)を廃車する。 消防職員　定員 47 名　実員 47 名
平成 18 年 (2006)	第 23 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん） 第 31 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん第 2 位入賞） 第 45 回神奈川県消防操法大会に第 5 分団出場する。 消防職員　定員 47 名　実員 47 名
平成 19 年 (2007)	第 10 代消防長　坂本光俊　就任 積載車（ニッサン GBD-U72TP）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車（三菱 V-U42V 改）を廃車する。 第 24 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん） 第 32 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん） （出場種目　基本泳法　第 36 回消防救助技術関東地区指導会選

	出） 消防職員　定員 47 名　実員 46 名
平成 20 年 （2008）	第 25 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん） 第 33 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、基本泳法） 第 37 回消防救助技術関東地区指導会に出場する。 （出場種目　基本泳法） 第 46 回神奈川県消防操法大会に第 6 分団出場する。 消防ポンプ自動車（日野 BDG-XZU304E）A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン Z-FGY60 改）を廃車する。 小型動力ポンプ積載車（スバル EBD-TT2）1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S80P 改）を廃車する。 下山口に防火水槽（40 ㎥）を設置する。 消防職員　定員 47 名　実員 47 名
平成 21 年 （2009）	第 11 代消防長　　有馬　弘　就任 第 11 代消防団長　石井定裕　就任 第 26 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん） 第 34 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、基本泳法） 消防緊急通信指令装置Ⅰ型（富士通ゼネラル HA-3000D）を整備し、運用を開始する。 高規格救急自動車（トヨタ CBF-TRH226S）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の高規格救急自動車（トヨタ GE-VCH32S）を廃車する。 消防ポンプ自動車（日野 BDG-XZU304E）A-2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン Z-FGY60 改）を廃車する。 消防職員　定員 47 名　実員 47 名
平成 22 年 （2010）	第 27 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん） 第 35 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん）

	第47回神奈川県消防操法大会に第1分団出場する。 消防無線更新。携帯2基5W 水難救助艇（アキレスSG-140）1艘を購入し、消防署に配置する。 日本損害保険協会より小型動力ポンプ積載車（ダイハツEBD-S331W）1台の寄贈を受け、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ積載車（ダイハツM-S82P改）を廃車する。 消防ポンプ自動車(日野 BDG-XZU304E)A-2級1台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車（ニッサンZ-FGY60改）を廃車する。 消防職員　定員47名　実員47名
平成23年 (2011)	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生に伴い、緊急消防援助隊として消火隊2隊を派遣する。（第1次派遣隊は宮城県仙台市宮城野区岡田地区、第2次派遣隊は宮城県仙台市宮城野区蒲生地区へ派遣） 機動車（ニッサンDBA-NT31）1台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の広報車（三菱E-CD5W改）を廃車する。 機構改革により総務部総務課に防災係を設置する。 消防職員　定員47名　実員47名
平成24年 (2012)	第29回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ほふく救出） 第37回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ほふく救出） 第48回神奈川県消防操法大会に第2分団出場する。 （ポンプ車操法の部　第3位優秀賞） 救助工作車（日野SDG-GX7JGAA改）1台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救助工作車（ニッサンディーゼルKC-MK211EH改）を廃車する。 消防職員　定員47名　実員47名
平成25年 (2013)	第12代消防長　　小山正彦　就任 第12代消防団長　沼田慎一　就任 第13代消防長　　髙梨　勝　就任 第30回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ほふく救出） 第38回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ほふく救出） 資機材搬送車（いすゞTDG-NMS85AN）1 台を購入し、消防署に配置する。

	総務省消防庁より小型動力ポンプ積載車（ダイハツ EBD-S331W）1 台の無償貸与を受け、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S82P 改）を廃車する。 消防職員　定員 47 名　実員 47 名
平成 26 年 (2014)	第 31 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出） 第 39 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出） 第 49 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 高規格救急自動車（トヨタ CBF-TRH226S）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の高規格救急自動車（ニッサン TC-FPGE50 改）を廃車する。 横須賀市・三浦市・葉山町、2 市 1 町による消防通信指令事務の共同運用に向けた「横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会」設置。(横須賀市・三浦市消防指令センターは平成 25 年 4 月より運用開始。) 消防職員　定員 48 名　実員 48 名
平成 27 年 (2015)	横須賀市・三浦市・葉山町消防指令センター運用開始。 消防救急デジタル無線（活動波・統制波・主運用波）運用開始。 予防係を予防課へ変更する。 第 32 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過） 第 40 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過） ＣＡＦＳ付消防ポンプ自動車（モリタ TKG-XZU640M）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車（日野 KK-FD1JEEA 改）A-2 級を廃車する。 一色に消火栓 1 基、長柄に消火栓 1 基、堀内に防火水槽（40 ㎥）1 基を設置する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-21BS 型）C-1 級 3 台を購入し、木古庭、一色、長柄に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ（富士ロビン P380）C-1 級を廃棄する。 一色に配置の小型動力ポンプ（トーハツ T66B4）C-1 級を廃棄する。 長柄に配置の小型動力ポンプ（ラビット P303BS）C-1 級を廃棄する。

	消防職員　定員 49 名　実員 49 名
平成 28 年 (2016)	第 14 代消防長　福本昌己　就任 第 33 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん） 第 41 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ロープブリッジ渡過） 第 50 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 下山口に消火栓 2 基、長柄に消火栓 2 基を設置する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-21BS 型）C-1 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ（ラビット P475S-DX・V）B-3 級を廃棄する。 資機材搬送車（ニッサン EBD-DR16T）1 台を購入し、下山口に配置する。 消防職員　定員 52 名　実員 49 名
平成 29 年 (2017)	長柄の詰所を移転新築する。（鉄骨 1 階建、延べ面積 122.42 ㎡） 第 34 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出） 第 42 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープ応用登はん、ほふく救出） 資機材搬送車（ニッサン EBD-DR16T）1 台を購入し、木古庭に配置する。 消防職員　定員 52 名　実員 54 名
平成 30 年 (2018)	第 15 代消防長　小峰　守　就任 第 35 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出） 第 43 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出） 第 51 回神奈川県消防操法大会に第 5 分団出場する。 木古庭に消火栓 1 基、上山口に消火栓 1 基、一色に消火栓 1 基を設置する。 高規格救急自動車（ニッサン CBF-CS8E26 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 資機材搬送車(ニッサン EBD-DR16T) 1 台を購入し、長柄に配置する。

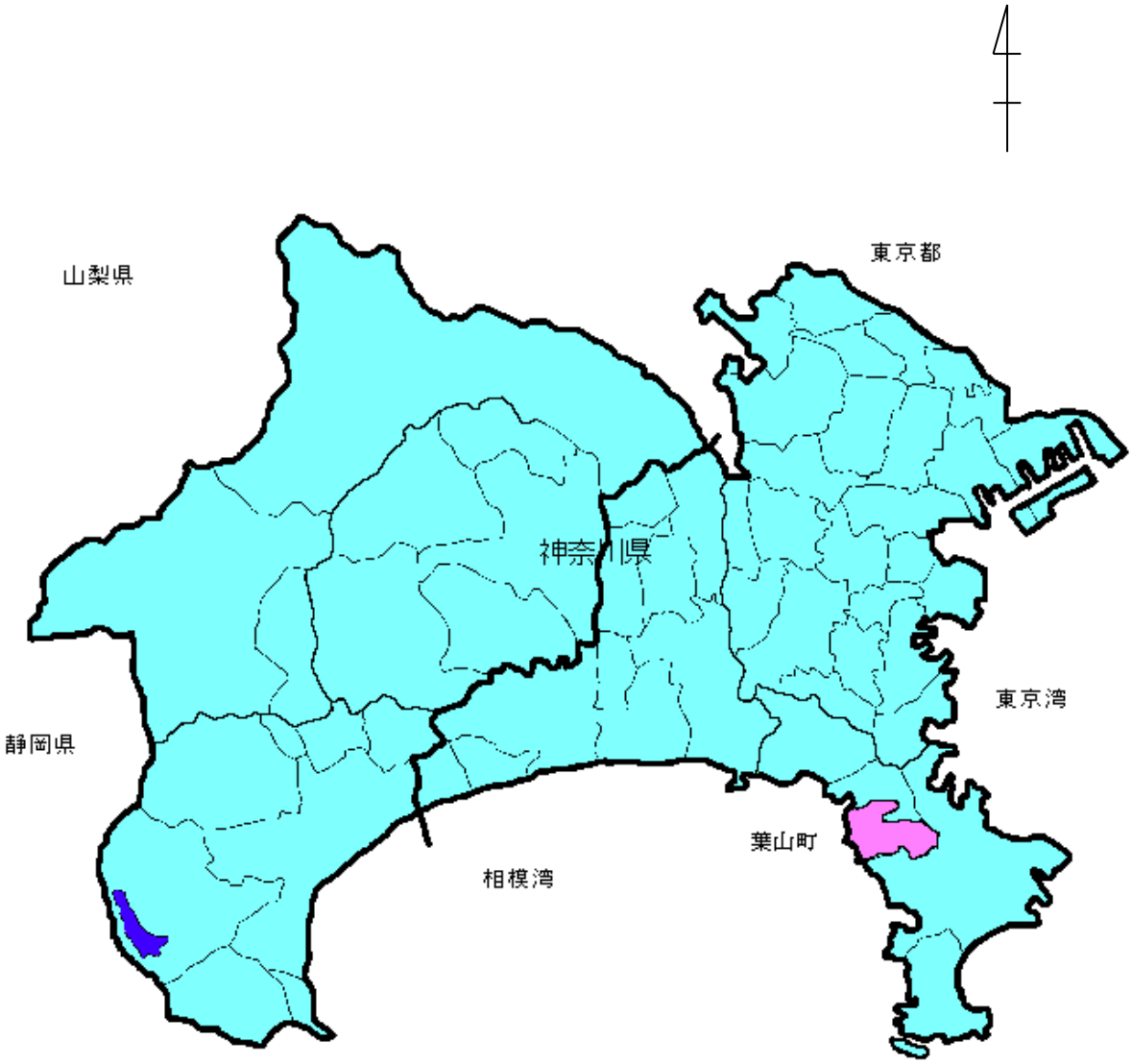
	消防職員　定員 55 名　実員 55 名
令和元年 (2019)	第 13 代消防団長　石井栄蔵　就任 第 36 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん） 第 44 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目　はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん） 木古庭に消火栓 1 基を設置する。 総務省消防庁より救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車(トヨタ LDF-KDY231 改)1 台の無償貸与を受け、一色に配置する。 消防職員　定員 55 名　実員 54 名

町　　勢

葉山町役場

位　置

葉山町は、三浦半島の西北部に位置し、西は相模湾に面し、北は逗子市、東と南は横須賀市に接しており、首都東京から 50ｋｍ圏にある。



葉山町役場の所在地　神奈川県三浦郡葉山町堀内 2135 番地
位　置　北緯 35°16′08″東経 139°35′24″
町　制　施　行　大正 14 年 1 月 1 日

面積・人口・世帯数

令和2.4.1現在

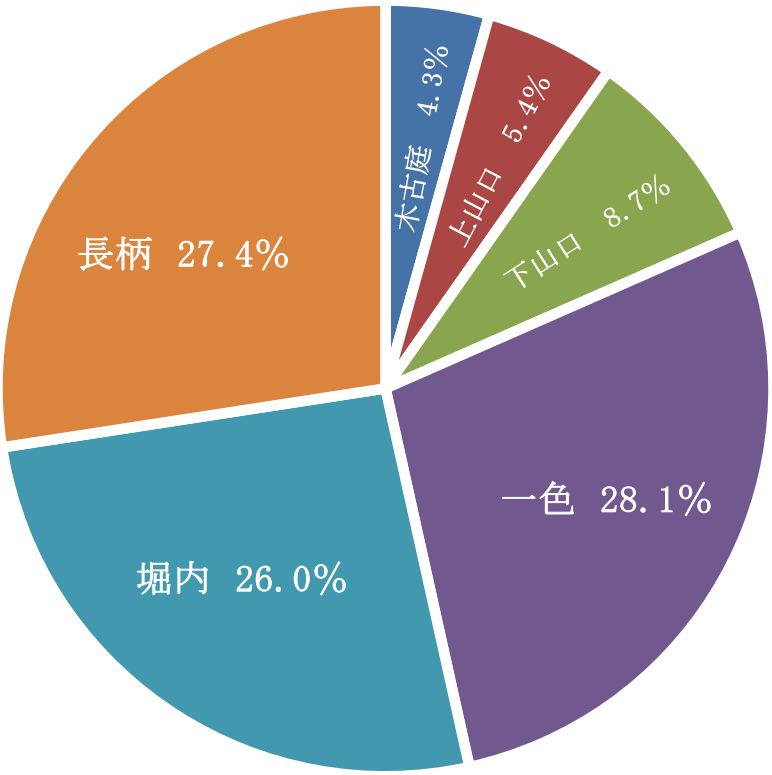
面積	人口			世帯数
17.04ｋ㎡	32,918人	男	15,624人	14,434世帯
		女	17,294人	

地区別情勢

令和2.4.1現在

区分 / 地区	人口			世帯数
	男	女	合計	(世帯)
	(人)	(人)	(人)	
木古庭	693	727	1,420	646
上山口	865	923	1,788	822
下山口	1,378	1,474	2,852	1,246
一色	4,348	4,907	9,255	3,990
堀内	4,040	4,533	8,573	3,807
長柄	4,300	4,730	9,030	3,923
合計	15,624	17,294	32,918	14,434

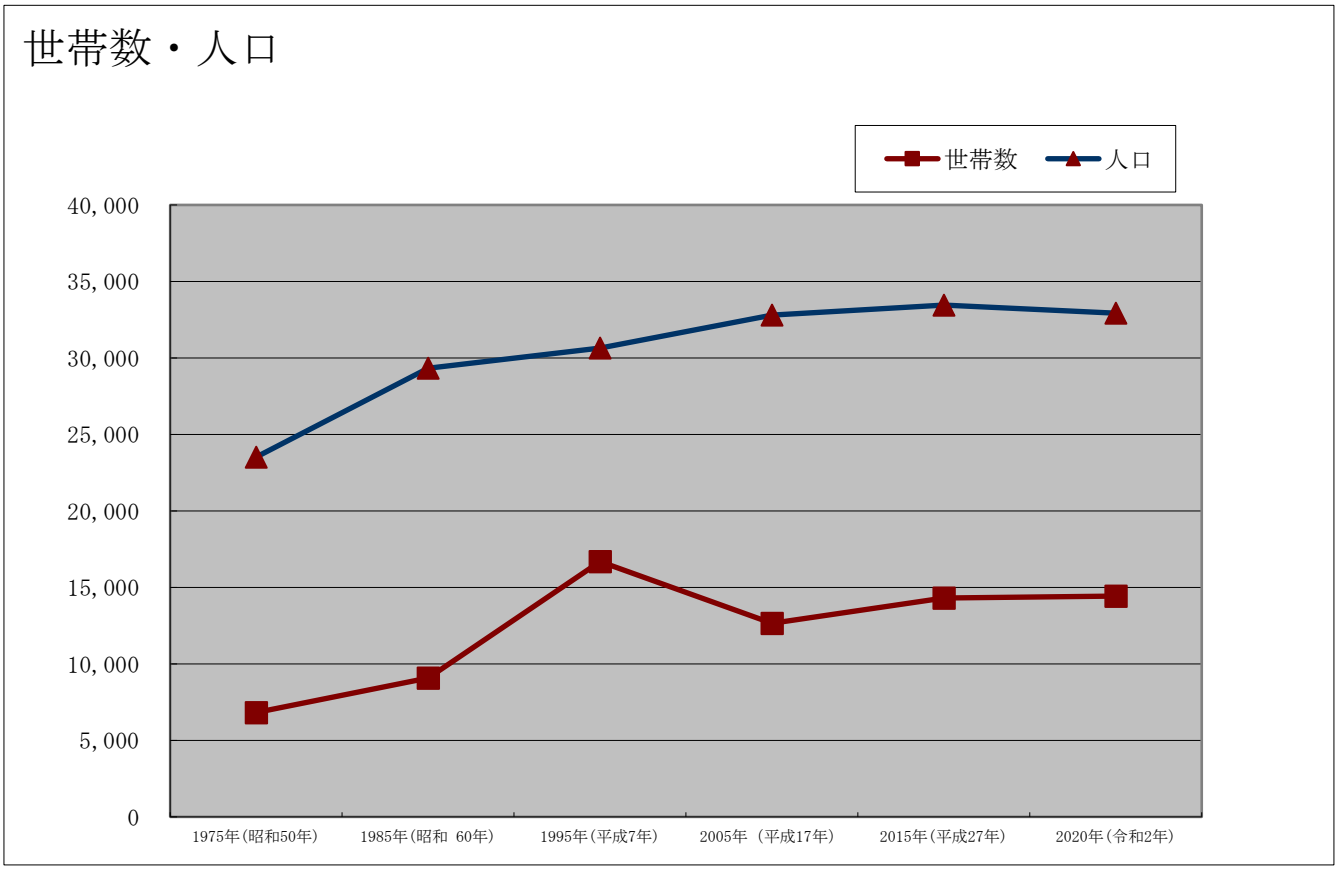
人口



人口の推移

令和2.4.1現在

区分 / 年	世帯数（世帯）	人口			1ｋ㎡あたり	
		男（人）	女（人）	合計（人）	世帯数（世帯）	人口（人）
1975年（昭和50年）	6,821	11,413	12,107	23,520	400	1,380
1985年（昭和 60年）	9,066	14,199	15,125	29,324	532	1,721
1995年（平成7年）	16,688	14,688	15,947	30,635	979	1,798
2005年（平成17年）	12,647	15,619	17,182	32,801	742	1,925
2015年（平成27年）	14,299	15,836	17,619	33,455	839	1,963
2020年（令和2年）	14,434	15,624	17,294	32,918	847	1,932



消　防　情　勢

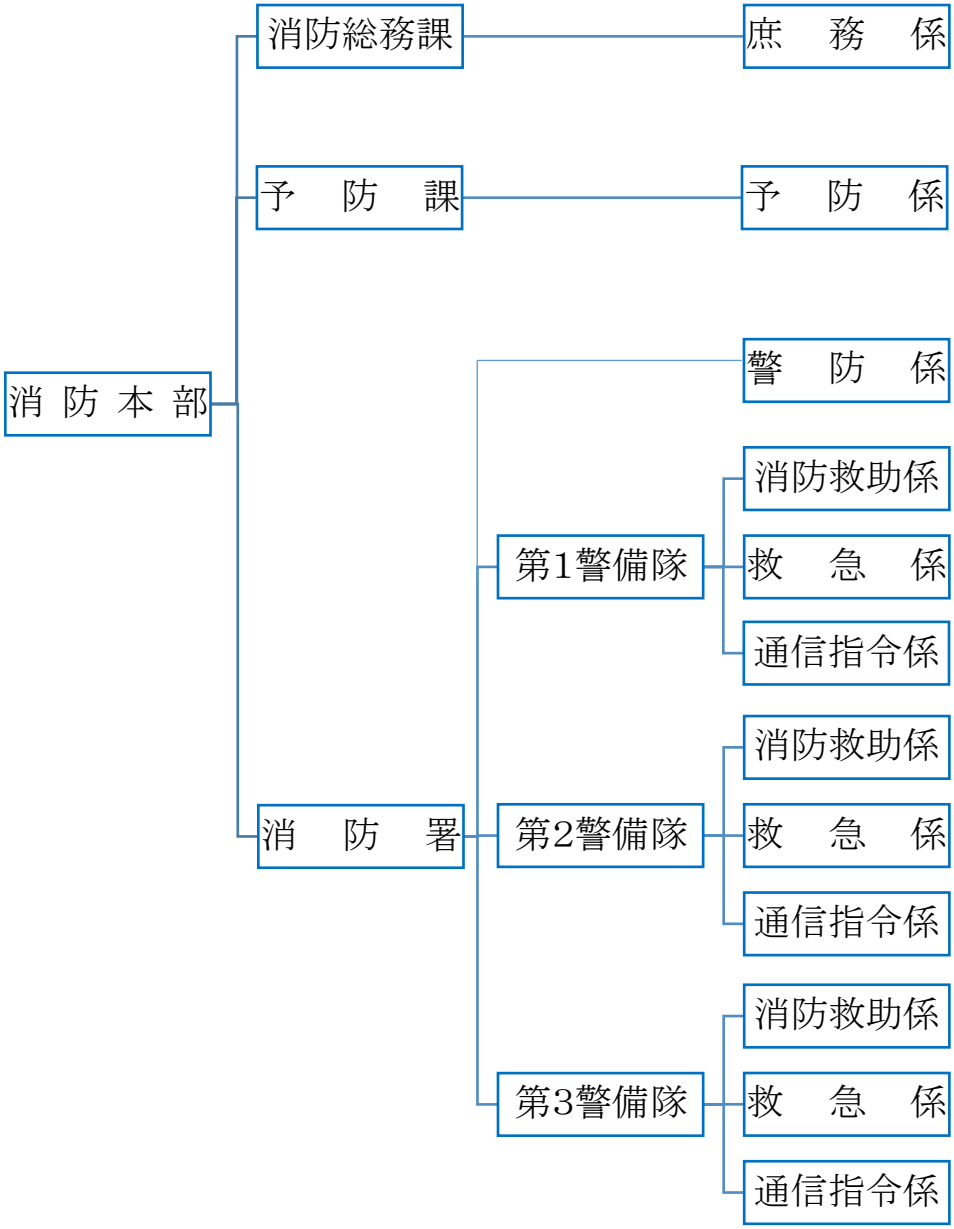
葉山町消防本部庁舎

消防本部・署・団設置

消防本部設置　昭和 43 年　3 月 29 日
消 防 署 設 置　昭和 45 年　4 月　1 日
消 防 団 設 置　昭和 22 年　7 月 19 日

消防本部・署の所在地　神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地 10
位　置　北緯 35°　27′　12″　　東経 139°　58′　50″
消防団本部の所在地　神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地 10
位　置　北緯 35°　27′　12″　　東経 139°　58′　50″

消防本部・署機構図



消防本部事務分掌

消防総務課

庶　務　係

（１）　消防事務の企画、調査、調整及び庶務に関すること。
（２）　消防組織に関すること。
（３）　条例及び規則の原案の調整並びに規程の制定又は改廃に関すること。
（４）　職員の任免、賞罰、服務その他身分に関すること。
（５）　職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。
（６）　職員の研修及び福利厚生に関すること。
（７）　公印の管理に関すること。
（８）　消防長の儀礼交際に関すること。
（９）　ほう賞及び表彰に関すること。
(10)　公務災害補償等に関すること。
(11)　消防出初式に関すること。
(12)　消防の総括統計に関すること。
(13)　消防団員の任免、服務、身分等に関すること。
(14)　消防団本部の庶務に関すること。
(15)　消防団員の訓練の企画及び調整に関すること。
(16)　消防予算の執行管理の総括に関すること。
(17)　消防施設の整備及び管理に関すること。
(18)　被服等の貸与並びに物品の出納及び管理に関すること。
(19)　消防署との連絡調整に関すること。
(20)　消防長の庶務及び部内の連絡調整に関すること。
(21)　指令業務の共同運用に関すること。

予防課

予　防　係

（１）　火災予防思想の普及及び調整に関すること。
（２）　火災予防等の規定及び調整に関すること。
（３）　建築確認及び許認可に係る同意に関すること。
（４）　防火管理者講習に係る総合調整に関すること。
（５）　防火対象物及び消防用設備の指導に係る調整に関すること。
（６）　火災予防協力組織及び団体の育成指導に関すること。
（７）　葉山町火災予防条例に基づく届出及び指導（警防係で扱うものを除く。）に関すること。
（８）　危険物施設の検査及び指導に関すること。
（９）　液化石油ガス等に関すること。
(10)　危険物取扱者に関すること。
(11)　危険物施設の許認可に関すること。

(12)　火災予防の総括（警防係で扱うものを除く。）に関すること。
(13)　開発行為等の指導（警防係で扱うものを除く。）に関すること。
(14)　火災の原因及び損害の調査（消防救助係で扱うものを除く。）に関すること。

消防署事務分掌

警　防　係

（１）　火災に係るり災証明に関すること。
（２）　搬送証明に関すること。
（３）　各種催事に係る警備の企画及び調整に関すること。
（４）　消防救助活動及び救急活動に係る訓練の企画及び調整に関すること。
（５）　屋外の火災予防の総括に関すること。
（６）　葉山町火災予防条例（昭和 37 年葉山町条例第８号）第 45 条（第３号及び第６号を除く。）及び第 45 条の２に規定する届出に関すること。
（７）　開発行為の指導（葉山町まちづくり条例施行規則（平成 15 年葉山町規則第７号）第２条第３号に規定する中高層建築物の建築を目的とする開発事業を除く。）に関すること。
（８）　消防地理及び消防水利の総括に関すること。
（９）　消防車両、装備及び資機材の整備及び維持管理に関すること。
(10)　消防力整備計画に関すること。
(11)　消防対象物の警防計画に関すること。
(12)　消防警防計画に関すること。
(13)　消防相互応援協定等に関すること。
(14)　緊急消防援助隊に関すること。
(15)　消防車両の通行制限等の許認可申請に関すること。
(16)　消防現勢及び消防年報に関すること。
(17)　消防の総括統計に関すること。
(18)　関係機関等合同訓練の企画及び調整に関すること。

消防救助係

（１）　消防活動及び調査に関すること。
（２）　救助活動に関すること。
（３）　火災の原因及び損害の調査（防火対象物を除く。）に関すること。
（４）　屋外の火災予防の踏査及び指導に関すること。
（５）　消防地理及び消防水利の踏査に関すること。
（６）　各種催事に係る警備の実施に関すること。
（７）　消防救助活動に係る訓練の企画及び調整に関すること。
（８）　消防団員、事業所等の消防訓練指導等に関すること。
（９）　消防車両、装備及び資機材の日常点検に関すること。
(10)　消防本部との調整に関すること。
(11)　街頭消火器の整備及び維持管理に関すること。

救　急　係

（１）　救急活動に関すること。
（２）　応急手当の啓発活動に関すること。
（３）　救急活動に係る訓練の運用に関すること。
（４）　救急車両、装備及び資機材の日常点検に関すること。
（５）　応急手当の普及の総合調整に関すること。
（６）　救急活動に係る訓練の企画及び調整に関すること。
（７）　救急関連機関との調整に関すること。
（８）　救急車両、装備及び資機材の整備及び維持管理に関すること。
（９）　救急統計に関すること。

通信指令係

（１）　消防に係る気象観測に関すること。
（２）　災害通報の受信及び指令に関すること。
（３）　災害活動機関との連絡及び情報収集に関すること。
（４）　警防支援情報等の収集、管理及び保護に関すること。
（５）　消防通信施設の保守管理に関すること。
（６）　消防通信の技術指導及び訓練に関すること。
（７）　災害現場の調査及び情報の収集に関すること。
（８）　火災警報等に関すること。

消防本部・署・団情勢調

人口　32,918　人
世帯数　14,434　世帯
面積　17.04　Km²

令和2.4.1現在

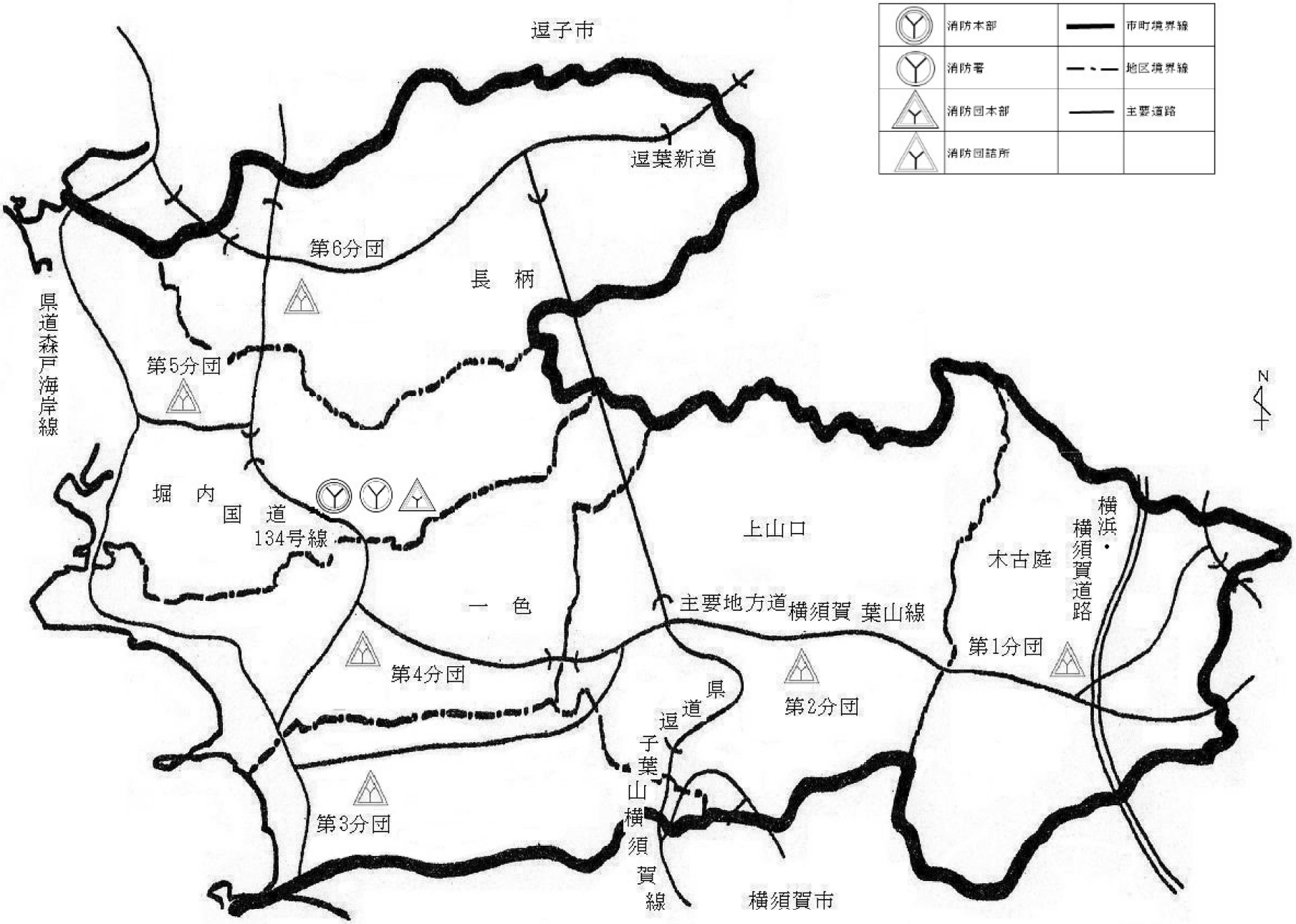
種別 / 区分	消防本部・署						消防団					
	消防吏員			消防ポンプ自動車			消防団員			消防ポンプ自動車		
現況	53人			2台			158人			6台		
細別	消防吏員1人あたり			消防車1台あたり			消防団員1人あたり			消防車1台あたり		
区分	面積(km²)	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km²)	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km²)	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km²)	人口(人)	世帯数(世帯)
平均値	0.3	621	272	8.5	16,459	7,217	0.1	208	91	2.8	5,486	2,406

消防本部・署・団車両等一覧表

令和2.4.1現在

種別 / 車両	消防本部・署	消防団	合計
指揮車	1台		1台
消防ポンプ自動車	2台	6台	8台
救助工作車	1台		1台
機動積載車	1台		1台
小型動力ポンプ付積載車		3台	3台
小型動力ポンプ	1台	3台	4台
高規格救急自動車	3台		3台
機動車	1台		1台
資材搬送車	2台	3台	5台
二輪車	2台		2台

消防本部・団本部署所配置図



庶　務　関　係

令和２年葉山町消防出初式

消防予算額

令和2年度

款	項	目	金額（千円）	比率（%）
消　防　費	消　防　費	常備消防費	499,525	77.7%
		非常備消防費	32,056	5.0%
		消防施設費	110,995	17.3%
		合　計	642,576	100%

町予算と消防予算の比

（単位：千円）

区分＼年度	令和２年度	令和元年度	平成30年度
町総予算額	10,345,000	10,086,028	9,675,000
消防予算額	642,576	592,835	822,787
比率（％）	6.2	5.9	8.5

消防費と人口・世帯の比

人　口 32,918人　　世帯数 14,434世帯　　令和2年度

予算額（千円）		1世帯あたり(円)	人口1人あたり(円)
消防費予算	642,576	44,518	19,521
常備消防費	499,525	34,608	15,175
非常備消防費	32,056	2,221	974
消防施設費	110,995	7,690	3,372
町総予算	10,345,000	716,711	314,266

消防職員定員・実員

令和2.4.1現在

区分＼階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
定員								55
実員	1	6	9	10	17	10	1	54
再任用者								

消防職員年齢

令和2.4.1現在

年齢＼階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
18～20						1		1
21～25					2	6		8
26～30					8	3		11
31～35				6	7			13
36～40				4			1	5
41～45								
46～50			9					9
51～55		5						5
56～60	1	1						2
60歳以上								
合計	1	6	9	10	17	10	1	54
平均年齢	58	53	48	35	29	24	39	36

消防職員勤続年数

令和2.4.1現在

勤続年数＼階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
1年未満								
1年以上5年未満					3	10		13
5年以上10年未満					10			10
10年以上15年未満				6	4		1	11
15年以上20年未満				3				3
20年以上25年未満				1				1
25年以上30年未満		1	7					8
30年以上35年未満		4	2					6
35年以上40年未満	1	1						2
40年以上								
合計	1	6	9	10	17	10	1	54

教育実施状況

令和元年度

教育種別	期間	人員	教育場所
専科教育　警防科	R1/10/17 ～ 12/6	1	消防大学校
総合教育　幹部科	R2/1/9 ～ 2/27	1	消防大学校
特別教育　操法指導員研修 （ポンプ車）	R1/5/10	1	神奈川県消防学校
特別教育　幹部特別教育 （研修教官）	R1/7/16 ～ 8/2	1	神奈川県消防学校
専科教育　救助科	R1/10/15 ～ 11/13	1	神奈川県消防学校
専科教育　警防科	R1/10/23 ～ 11/6	1	神奈川県消防学校
専科教育　特殊災害科	R2/1/15 ～ 1/23	1	神奈川県消防学校
専科教育　火災調査科	R2/1/15 ～ 1/28	1	神奈川県消防学校
特別教育　救急救命士研修	R2/1/17	1	神奈川県消防学校
特別教育　女性活躍推進研修	R2/1/23	1	神奈川県消防学校
専科教育　予防査察科	R2/2/12 ～ 2/26	1	神奈川県消防学校
特別教育　特別救助隊員研修	R2/2/17 ～ 2/21	1	神奈川県消防学校
特別教育　航空特別応援研修	R2/3/2 ～ 3/6	1	神奈川県消防学校
ハラスメント防止研修	R1/10/3 ～ 10/4	55 （※1）	葉山町消防本部

※1　行政職員3名含む。

特殊技能資格者

令和2.4.1現在

資格	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
自動車運転	大型特殊			1					1
	大型	1		4	2	6			13
	中型			2	8	6			16
	中型（8t限定）		6	3		1		1	11
	準中型					4	8		12
	普通						2		2
危険物	乙種4類		2	8	10	17	8		45
	丙種	1	4	2	1				8
予防技術者	防火査察		1		3	2			6
	消防用設備等		1		2	1			4
	危険物		1		1				2
消防設備士	甲種1種				1				1
	甲種2種				1				1
	甲種3種				1				1
	甲種4種				1		1		2
	甲種5種				1				1
	乙種6類				1		1		2
	乙種7類				1				1
消防設備点検資格者	点検資格第1種		1	2	3	1			7
	点検資格第2種		1	3	3	1			8
可搬消防ポンプ等整備資格者		1		1	2				4
第1、2、3級陸上特殊無線技士		1	6	9	10	17	9		52
ガス溶接技能者		1	5	5			1		12
小型クレーン技能者				4	10	12			26
玉掛技能者				4	10	12			26
1級小型船舶操縦士			1	1					2
2級小型船舶操縦士			2	4	3	2			11
2級ガソリン自動車整備士		1							1
3級自動車ガソリンエンジン整備士		1							1
3級自動車シャシ整備士		1							1
3級自動車ジーゼルエンジン整備士		1							1
第二種酸素欠乏危険作業主任者				1	2				3
特定化学物質等作業主任者				1		3			4
毒物劇物取扱責任者						1			1
応急手当指導員		1	6	9	10	17	9		52
救急救命士			2	7		4	2		15
アマチュア無線技士			1	2					3

警　防　関　係

横浜市･葉山町合同航空連携訓練

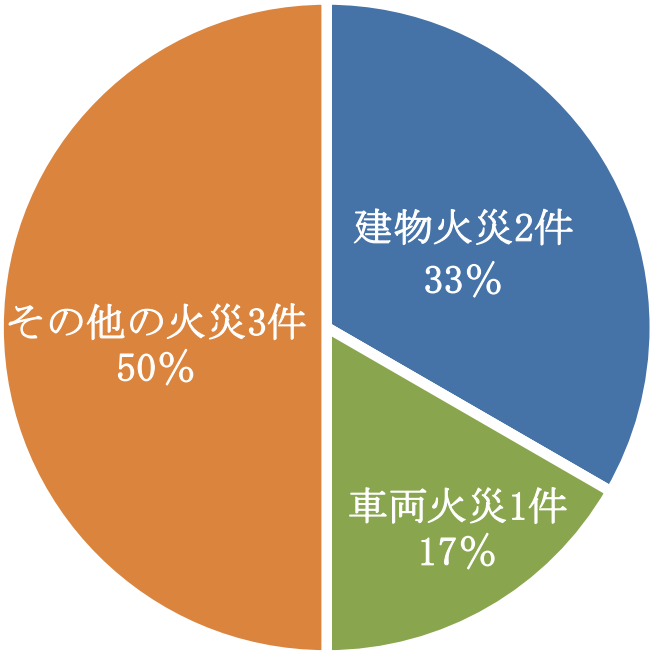
火災概況

令和元年中

火災件数		6件	
火災種別	建物火災	2件	内訳（全焼1件、ぼや1件）
	林野火災		
	車両火災	1件	
	船舶火災		
	航空機火災		
	その他の火災	3件	
焼損面積		109㎡	
損害見積額		43,621千円	
罹災世帯数		2世帯	
死傷者数		2人	

火災別比較

令和元年中



出火原因別火災発生状況

令和元年中

区分 件数	火災種別	出火原因		
		発火源	経過	着火物
1	その他の火災	火のついた紙	放火	立木
2	その他の火災	不明	放火の疑い	その他
3	建物火災	電気こんろ	その他	合成樹脂と形成品
4	車両火災	その他の配線器具	半断線により発熱する	電線被類
5	その他の火災	不明	放火の疑い	ごみ類
6	建物火災	不明	不明	不明

火災発生状況

令和元年中

区分 / 月	火災種別							死傷者		建物火災																			損害見積額				
										焼損棟数								罹災世帯数			罹災人員	焼損面積					林野焼損面積	その他焼損面積	建物		車両	その他	合計
										火元棟				延焼数																			
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計	死者	負傷者	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損		全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計			建物	収容物			
1						1	1																					7.59					
2	1					1	2						1							1	2									22			22
3																																	
4																																	
5																																	
6																																	
7																																	
8																																	
9																																	
10			1				1																								26		26
11	1					1	2	2		1								1			4	101				101			22,975	20,598			43,573
12																																	
合計	2		1			3	6	2		1			1					1		1	6	101				101		7.59	22,975	20,620	26		43,621
(単位)	件	件	件	件	件	件	件	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	世帯	世帯	世帯	人	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	千円	千円	千円	千円	千円

																																	出火率(件)
過去5年	平成26年	6					4	10	1	3	1		1	4			1	5	1		12	31	114		30	1.2	145.2		334.7	19,756				19,756	2.9
	平成27年	5			1		1	7		2	2			3			4	2	2		17	40	236.07		101.354	0.5262	337.95		0.105	29,540	8,779		312	38,631	2.1
	平成28年	6		1				7	2	1	2		1	3	1	2	3		6		6	37	385	63	11	1	460			59,870	7,487	476		67,833	2.1
	平成29年	5		1			4	10	1	3	1		2	2			2		1		6	15	137		72		209		73	15,494	630	630		16,754	3.0
	平成30年	2	1	2			1	6						2							2	4						99			1	124	165	290	1.8

火災覚知方法時間別状況

令和元年中

覚知 / 時間	一一九番	加入電話	事後聞知	かけつけ	巡回中発見	その他	合計
0 ～ 1							
1 ～ 2			1				1
2 ～ 3							
3 ～ 4							
4 ～ 5							
5 ～ 6							
6 ～ 7							
7 ～ 8							
8 ～ 9	1						1
9 ～ 10							
10 ～ 11							
11 ～ 12							
12 ～ 13							
13 ～ 14							
14 ～ 15	1						1
15 ～ 16							
16 ～ 17							
17 ～ 18							
18 ～ 19	1		1				2
19 ～ 20							
20 ～ 21							
21 ～ 22	1						1
22 ～ 23							
23 ～ 24							
合計	4		2				6

地区別火災発生状況

令和元年中

区分＼地区		単位	木古庭	上山口	下山口	一色	堀内	長柄	合計
出火件数		件		1	2	3			6
内訳	建物	件				2			2
	林野	件							
	車両	件				1			1
	船舶	件							
	航空機	件							
	その他	件		1	2				3
焼損棟数		棟				2			2
内訳	全焼	棟				1			1
	半焼	棟							
	部分焼	棟							
	ぼや	棟				1			1
建物焼損面積		㎡				101			101
林野焼損面積		㎡							
その他焼損面積		㎡			7.59				7.59
罹災世帯数		世帯				2			2
内訳	全損	世帯				1			1
	半損	世帯							
	小損	世帯				1			1
罹災人員		人				6			6
火災損害額		千円				43,621			43,621
内訳	建物	千円				43,595			43,595
	林野	千円							
	車両	千円				26			26
	船舶	千円							
	航空機	千円							
	その他	千円							

時間別火災発生状況

令和元年中

区分 / 時間	建物 全焼	建物 半焼	建物 部分焼	建物 ぼや	合計	建物以外の火災	建物焼損面積（㎡）	林野焼損面積（㎡）	その他焼損面積（㎡）	損害見積額（千円）
0 ～ 1										
1 ～ 2						1			7.59	
2 ～ 3										
3 ～ 4										
4 ～ 5										
5 ～ 6										
6 ～ 7										
7 ～ 8										
8 ～ 9						1				
9 ～ 10										
10 ～ 11										
11 ～ 12										
12 ～ 13										
13 ～ 14										
14 ～ 15	1				1		101			43,573
15 ～ 16										
16 ～ 17										
17 ～ 18										
18 ～ 19				1	1	1				22
19 ～ 20										
20 ～ 21										
21 ～ 22						1				26
22 ～ 23										
23 ～ 24										
不明										
合計	1			1	2	4	101		7.59	43,621

消防署の消防車両等の出場状況

令和元年中

出場＼月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
火災	件数	1	1		1						1	2		6
	出場台数	3	2		7						4	19		35
	出場人員	8	6		23						11	78		126
救助	件数	1	1		1	1		2	1	3	3	2	2	17
	出場台数	3	4		3	4		10	3	10	10	14	6	67
	出場人員	9	11		9	12		33	8	27	28	57	18	212
危険排除	件数	2	5	1			1	1			2	2		14
	出場台数	6	15	3			2	4			4	4		38
	出場人員	15	45	8			6	11			10	8		103
偵察	件数	4	4	2	3	3	3	3	2	3	4	2	1	34
	出場台数	8	10	4	7	7	7	6	3	6	7	4	2	71
	出場人員	23	29	12	20	22	20	17	10	15	21	9	6	204
その他	件数								1					1
	出場台数								1					1
	出場人員								2					2
調査	件数	1	1	1			1	2	1					7
	出場台数	2	1	2			2	4	2					13
	出場人員	5	4	5			6	9	5					34
PA連携	件数	15	11	7	14	6	13	13	17	11	11	9	16	143
	出場台数	28	20	14	28	12	24	23	32	23	21	19	26	270
	出場人員	69	49	35	70	30	59	57	71	58	52	48	62	660
合計	件数	24	23	11	19	10	18	21	22	17	21	17	19	222
	出場台数	50	52	23	45	23	35	47	41	39	46	60	34	495
	出場人員	129	144	60	122	64	91	127	96	100	122	200	86	1,341

消防署出場件数前年比較（30年中・令和元年中）

1　火災出場

種別／区分	建物火災	車両火災	林野火災	その他火災	管外火災	合　　計
平成30年中	2	2	1	1		6
令和元年中	4	1	0	1		6
比　　較	2	△ 1	△ 1	0		0

火災件数

種別／区分	建物火災	車両火災	林野火災	その他火災	合　　計
平成30年中	2	2	1	1	6
令和元年中	2	1	0	3	6
比　　較	0	△ 1	△ 1	2	0

2　救助出場

種別／区分	火　災	交通事故	水難事故	建物等による事故	そ の 他	合　　計
平成30年中	1	3	8	4	5	21
令和元年中	1	0	4	6	6	17
比　　較	0	△ 3	△ 4	2	1	△ 4

3　その他出場

種別／区分	危険排除	偵　　察	特別災害	その他	合　　計
平成30年中	13	21		0	34
令和元年中	14	34		1	49
比　　較	1	13		1	15

4　救急支援出場

種別／区分	特定	救命	合計
平成30年中	52	84	136
令和元年中	59	84	143
比　　較	7	0	7

救急支援（特定）内訳

谷戸高台	5	隊員保護	1	救急隊遅延	葉山対応	7
中高層	1	繁華街			逗子対応	14
交通	3	署所直近			横須賀対応	7
自動車専用道路		その他	21	合計		59

※その他21件（搬送支援等）

5　調査出場

種別／区分	火災（後聞）	風水害	その他	合　　計
平成30年中	2	3	1	6
令和元年中	3	1	3	7
比　　較	1	△ 2	2	1

6　救急出場（事故種別）件数

種別／区分	急病	一般負傷	交通事故	移送	自損行為	加害	運動競技	労災事故	火災事故	自然災害	水難事故	医師搬送	資材搬送	その他	合計
平成30年中	1,153	341	87	74	6	3	9	19	4	1	11			0	1,708
令和元年中	1,150	355	94	85	9	4	3	16	4	2	7			2	1,731
比　　較	△ 3	14	7	11	3	1	△ 6	△ 3	0	1	△ 4			2	23

7　救急隊別出場件数

種別 区分	第１救急隊	第２救急隊	その他車両	合　計
平成30年中	1,363	345		1,708
パーセント	79.8%	20.2%		
令和元年中	1,397	334		1,731
パーセント	80.7%	19.3%		
比　　較	34	△ 11		23

8　応援状況

(1) 火災救助等受援件数

市 区分	逗子市から葉山町			横須賀市から葉山町			横浜市から葉山町			合計
	火災	救助	その他	火災	救助	その他	火災	救助	その他	
平成30年中		1	1	1		0		1		4
令和元年中		0	0	2		1		1		4
比　　較		△ 1	△ 1	1		1		0		0

(2) 火災救助等応援件数

市 区分	葉山町から逗子市			葉山町から横須賀市			葉山町から横浜市			合計
	火災	救助	その他	火災	救助	その他	火災	救助	その他	
平成30年中		1								1
令和元年中		0								0
比　　較		△ 1								△ 1

(3) 救急受援件数

市 区分	逗子市から葉山町	横須賀市から葉山町	ドクターヘリ	合計
平成30年中	22	31		53
令和元年中	14	22		36
比　　較	△ 8	△ 9		△ 17

(4) 救急応援件数

市 区分	葉山町から逗子市	葉山町から横須賀市	合計
平成30年中	8	0	0
令和元年中	5	2	53
比　　較	△ 3	2	53

令和元年中出場件数

	火災種別	出場件数	火災件数	合計 出場	合計 火災
火災出場	建物火災	4	2	6	6
	車両火災	1	1		
	林野火災				
	その他火災	1	3		

※建物火災2件誤報

	火災種別	出場件数	合計
応援火災出場			

	事故種別	出場件数	活動件数	合計 出場	合計 活動
救助出場	火災	1	1	17	13
	交通事故				
	水難事故	4	2		
	風水害等自然災害事故				
	機械による事故				
	建物等による事故	6	4		
	ガス及び酸欠事故				
	破裂事故				
	その他	6	6		

		その他分類	出場件数	合計
その他出場	危険排除	危険物	11	14
		火気取扱		
		風害		
		水害		
		山崩れ		
		ガス	1	
		電気		
		その他（危険排除）	2	
	偵察	怪煙	3	34
		焚火	2	
		異臭	1	
		自火報発報	14	
		緊急通報	1	
		その他（偵察）	13	
	特別災害	N災害		
		BC災害		
	その他	その他	1	1

	出場種別	出場件数	合計
救急支援出場	特定	59	143
	救命	84	

	調査種別	出場件数	合計
調査出場	火災（事後聞知）	3	7
	風水害（調査）	1	
	その他（調査）	3	

山中救助概要

発生年	28年	29年	30年	元年	合計
発生件数	6	6	2	2	16
うち ヘリ救助件数	1		1	1	3
日中件数	4	5	2	2	13
夜間件数	2	1			3
救助人員	6	6	5	2	19
救急搬送者数	2	1	1	1	5

年別所要時間別(覚知～ 救出完了)件数

所要時間 ＼ 発生年	28年	29年	30年	元年	合　計
～ 30分					
30分 ～ 1時間	2	3		1	6
1時間 ～ 1時間30分	1	2			3
1時間30分 ～ 2時間					
2時間 ～ 2時間30分			2		2
2時間30分 ～ 3時間	1				1
3時間 ～ 3時間30分	1			1	2
3時間30分 ～ 4時間	1	1			2
4時間 ～ 4時間30分					
4時間30分 ～ 5時間					
5時間 ～ 5時間30分					
5時間30分 ～ 6時間					
6時間 ～ 6時間30分					
8時間 ～ 8時間30分					
合　計	6	6	2	2	16

消防本部・署現有車両機械

令和2.4.1現在

用途	車両会社名	登録年月日	原動機ポンプ					無線呼出名称
			エンジン社名	気筒容積(CC)	ポンプ社名	ポンプ型式	ポンプ級別	
消防ポンプ自動車	日野	平成27年12月7日	日野	4,000	モリタ	1段ボリュート式ポンプ	A-2	はやましき ぽんぷ1
消防ポンプ自動車	日野	平成13年11月19日	日野	4,890	畠山ポンプ	2段バランスタービン	A-2	はやま ぽんぷ2
救助工作車	日野	平成25年2月4日	日野	6,400				はやま きゅうじょ1
機動積載車	ニッサン	平成19年8月29日	ニッサン	650				はやま きどう1
救急自動車	ニッサン	平成30年12月18日	ニッサン	2,480				きゅう きゅう はやま1
救急自動車	トヨタ	平成26年11月26日	トヨタ	2,690				きゅう きゅう はやま2
非常用救急自動車	トヨタ	平成21年9月15日	トヨタ	2,690				
機動車	ニッサン	平成23年6月15日	ニッサン	1,990				はやま きどう2
指揮車	ニッサン	平成15年7月28日	ニッサン	1,990				はやま しき1
資機材搬送車	いすゞ	平成25年8月21日	いすゞ	2,990				はやま しざい1
資材車	ニッサン	平成26年7月30日	ニッサン	650				はやま しざい2
二輪車	ホンダ	平成5年9月9日	ホンダ	90				
二輪車	ホンダ	平成9年7月28日	ホンダ	50				
小型動力ポンプ		平成28年3月16日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1	

警防用機器資材

令和2.4.1現在

用途	一般救助用								重量物排除用			
名称	かぎ付はしご	三連はしご	ワイヤーはしご	空気式救助マット	救命索発射銃	救助縛帯	サーバイバースリング	平担架	マンホール救助器具	救助用簡易起重機	油圧救助器具（スプレッダー）	救助用油圧ジャッキ
数量	3	3	2		1	8	2	3			1	2

用途	重量物排除用			切断用								
名称	可搬式ウィンチ	マット型空気ジャッキ	チェーンブロック	油圧救助器具（カッター）	エアーソー	エンジンカッター	電動カッター	酸素溶断機	チェーンソー	鉄筋カッター		
数量	6	1		1	1	3	1		4	11		

用途	測定用					破壊用		呼吸保護用				
名称	複合ガス検知器（酸素濃度測定器含む）	放射能測定器（ポケット含む）	有毒ガス測定器	マルチガスモニターポッケタブル	可燃性ガス警報器	削岩機	ハンマードリル	空気呼吸器	酸素呼吸器	簡易呼吸器	防毒マスク	
数量	3	20	1			1	2	12			17	

用途	隊員保護用											
名称	送排風機一式	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱防護服	放射能防護服	陽圧式化学防護服	化学防護服（簡易防護服含む）	防毒衣		
数量	1	15	2	2	2		5	2	39			

用途	水難救助用				画像探索機				その他			
名称	潜水器具一式	救命胴衣	救命ボート	船外機	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	ファイバースコープⅢ型	画像探索機Ⅱ型	除染設備一式	ワンタッチテント	エアーテント	画像伝送装置一式
数量		45	1	1	1			1			1	

消防水利現勢

令和2.4.1 現在

種別		地区	木古庭	上山口	下山口	一色	堀内	長柄	合計
公設消防水利	消火栓	公設消火栓	29	59	39	121	112	86	446
	防火水槽	20㎥以上40㎥未満			1	6	4	2	13
		40㎥以上100㎥未満	1	14	6	12	16	15	64
		防火水槽小計	1	14	7	18	20	17	77
指定消防水利	消火栓	私設消火栓			1	1		1	3
	防火水槽	20㎥以上40㎥未満	1	4	3	8	9	1	26
		40㎥以上100㎥未満	2	9	2	20	18	2	53
		100㎥以上	2	1				1	4
		防火水槽小計	5	14	5	28	27	4	83
	その他	プール		1		1	3	2	7
		その他小計		1		1	3	2	7
合計			35	88	52	169	162	110	616

空地の枯草繁茂状況及び刈取り状況調査結果

令和元年度

地区		調査対象	繁茂(未刈取り)	繁茂なし(刈取り・該当なし)
木古庭	繁茂状況調査	5	2	3
	第1回刈取り調査	2		2
	第2回刈取り調査			
	最終刈取り調査			
上山口	繁茂状況調査	9	3	6
	第1回刈取り調査	3	1	2
	第2回刈取り調査	1		1
	最終刈取り調査			
下山口	繁茂状況調査	8	3	5
	第1回刈取り調査	3	1	2
	第2回刈取り調査	1	1	
	最終刈取り調査	1	1	
一色	繁茂状況調査	16	11	5
	第1回刈取り調査	11	8	3
	第2回刈取り調査	8	3	5
	最終刈取り調査	3	3	
堀内	繁茂状況調査	15	11	4
	第1回刈取り調査	11	6	5
	第2回刈取り調査	6	5	1
	最終刈取り調査	5	5	
長柄	繁茂状況調査	20	10	10
	第1回刈取り調査	10	6	4
	第2回刈取り調査	6	4	2
	最終刈取り調査	4	3	1
合計	繁茂状況調査	73	40	33
	第1回刈取り調査	40	22	18
	第2回刈取り調査	22	13	9
	最終刈取り調査	13	12	1

過去3年間の枯草繁茂状況

調査年度		調査対象	繁茂(未刈取り)	繁茂なし(刈取り・該当なし)
平成30年度	繁茂状況調査	77	43	34
	最終刈取り調査	13	12	1
平成29年度	繁茂状況調査	88	29	59
	最終刈取り調査	7	5	2
平成28年度	繁茂状況調査	87	47	40
	最終刈取り調査	11	10	1

注)調査対象は以下の基準に該当した空地に繁茂する枯草。

1．建築物及び危険物施設等から10メートル以内に繁茂し、かつ高さが50センチ以上である場合。

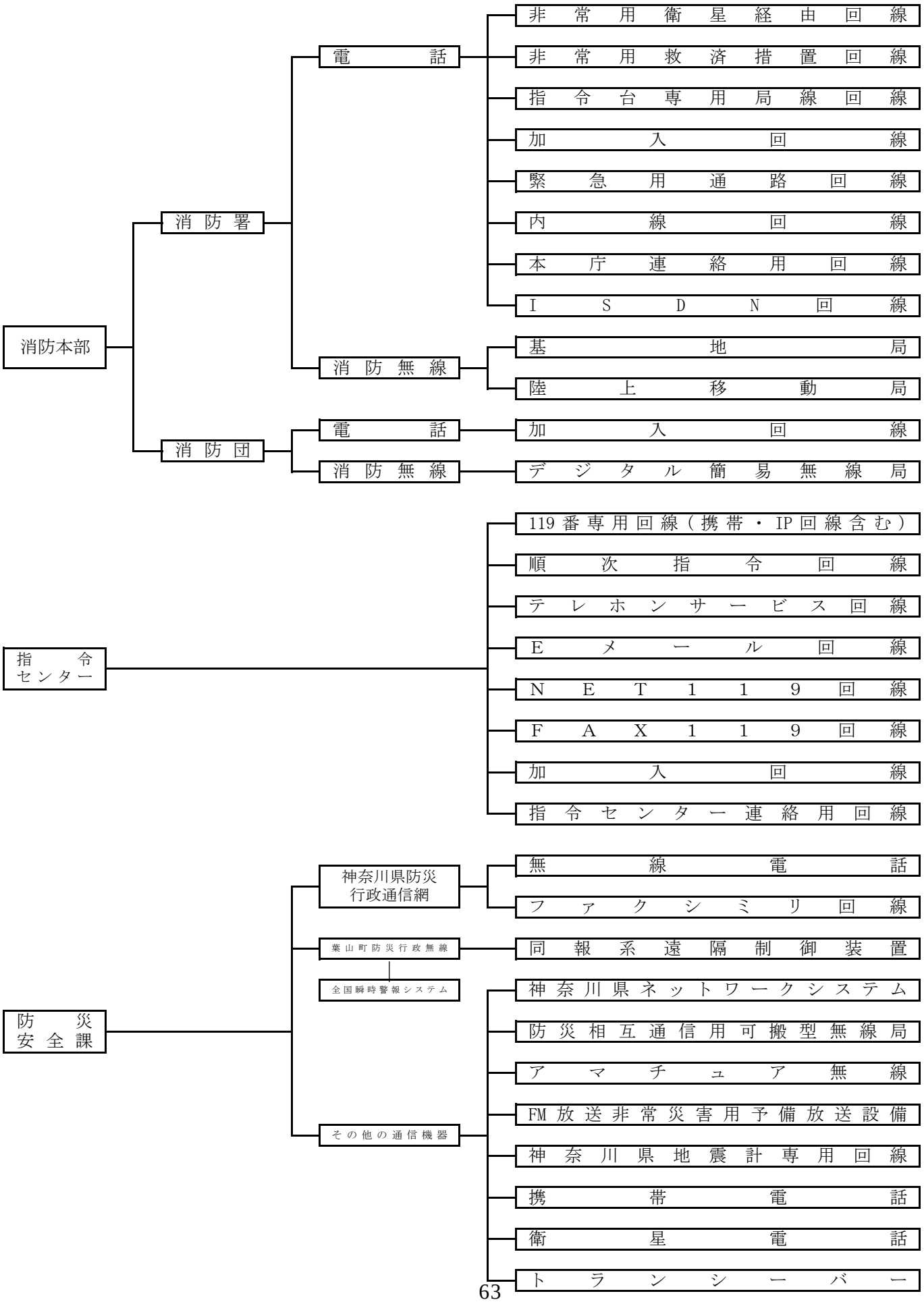
2．宅地造成地内に繁茂する枯草で、高さが50センチ以上である場合。

3．その他、特に火災予防上危険である場合。

指　令　関　係

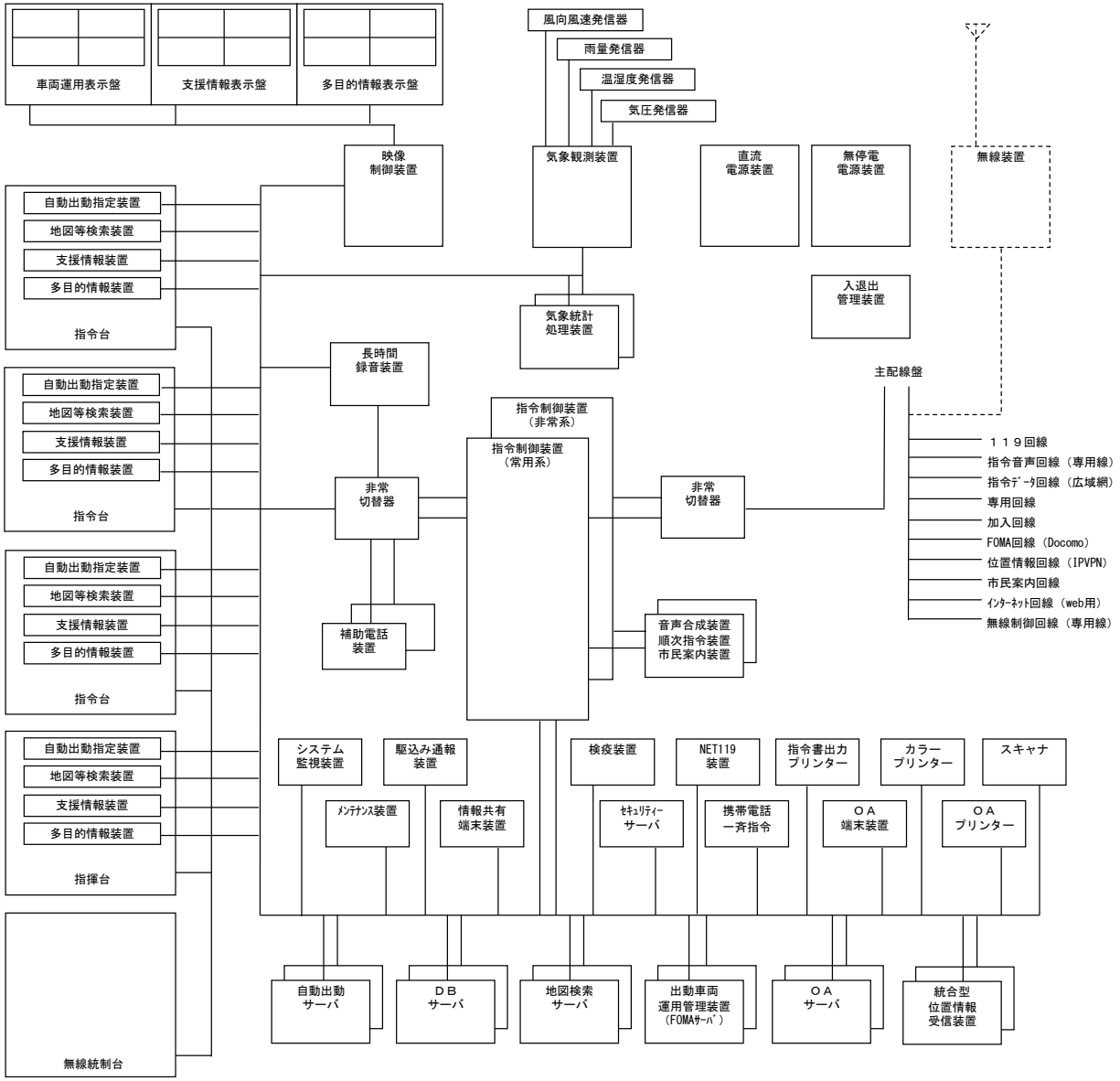
横須賀市・葉山町消防指令センター

消防本部・署・団の通信施設

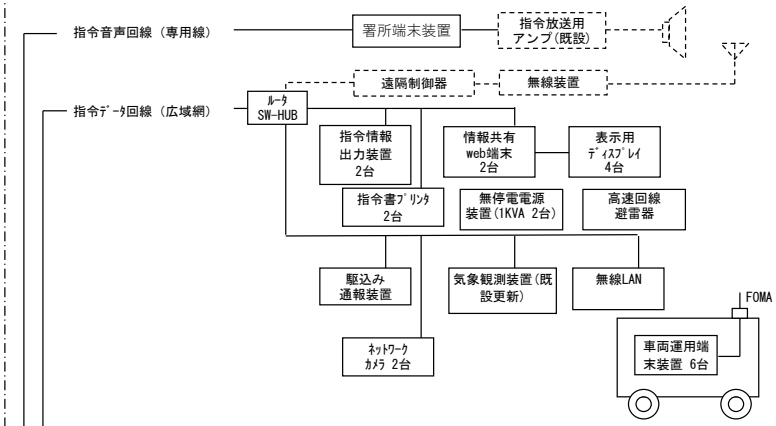


消防通信システム系統図

横須賀市・葉山町消防指令センター



葉山町消防本部・消防署



消防本部・署・指令センター回線一覧表

令和2.4.1現在

種別		数量	種別		数量
指令センター	119番専用回線（携帯・IP回線含む）	18	作戦室	非常用衛星経由回線	1
	順次指令回線	8		非常用救済措置回線	2
	テレホンサービス回線	10		指令台専用局線回線	2
	Ｅメール回線	1		緊急用通路回線（着信専用）	1
	ＮＥＴ１１９回線	1		ＩＳＤＮ回線(県所有1回線含む)	2
	ＦＡＸ１１９回線	1		電話交換装置	1
	加入回線	1		主配線盤（ＭＤＦ）	1
	指令センター連絡用回線	1			
消防本部・署	加入回線(ダイヤルイン・多機能)	6			
	内線回線	66			
	本庁（役場）連絡用回線	6			

消防本部・署・指令センター通信機器一覧表

1　指令情報施設（消防本部・署）　　令和2.4.1現在

名称	数量	名称	数量
受令端末装置	1 台	駆込通報装置	1 台
指令情報出力装置	2 台	風向風速発信器	1 式
情報共有ＷＥＢ端末	2 台	雨量発信器	1 式
表示用液晶ディスプレイ	4 台	気象総合変換器	1 式
無停電電源装置	2 台	ＧＰＳ時計装置	1 式
高速回線避雷器	1 式	気象データ処理装置	1 台
高速電源避雷器	1 式	車両運用端末装置	6 台
ネットワークカメラ	2 台		

2　指令情報施設（指令センター）　　令和2.4.1現在

	名称	数量		名称	数量
指令装置	指令台	6 台	表示盤	車両運用表示盤	4 面
	自動出動サーバ	1 台		支援情報表示盤	4 面
	データベースサーバ	1 台		映像制御ＰＣ	1 台
	自動データメンテナンス装置	1 台		多目的情報表示盤	4 面
	表示盤接続用端末装置	3 台		システム制御装置	1 台
	事案管制装置	3 台		映像操作タッチパネルＰＣ	1 台
	多目的情報表示装置	3 台		駆込通報装置受付用ＰＣ	1 台
	自動出動指定装置	3 台		駆込通報装置受付用電話機	1 台
	地図検索サーバ	2 台		気象データ処理装置	2 台
	地図データメンテナンス装置	1 台		順次指令装置	1 台
	地図検索装置	3 台		音声合成装置	1 台
	長時間録音装置	1 台		システム監視装置	1 台
	非常用指令設備	1 式		無停電電源装置	2 式
	指令制御装置	1 式		直流電源装置	1 式
	指令メンテナンスサーバ	1 台		携帯電話一斉指令装置	1 台
	データメンテナンス装置	1 台		高速電源避雷器	2 台
	携帯電話・ＩＰ電話受信転送装置	4 枚		高速回線避雷器	100 回線
指揮台	指揮台	2 台		ＮＥＴ１１９クライアント	1 台
	事案管制装置	1 台		無線統制台　統制席	1 台
	多目的情報表示装置	1 台		無線統制台　個別席	7 台
	自動出動指定装置	1 台		位置情報受信サーバ	1 台
	地図等検索装置	1 台			
指令電送装置	自動出動サーバ	1 台			
	ウイルス対策サーバ	2 台			
	検疫ＰＣ	1 台			

無線局配置状況

基地局　　令和2.4.1現在

呼出名称	空中線電力(W)	摘要
葉山消防	8	1CH（消防波）2CH（救急波） 送受信所：葉山町消防本部内 通信所：横須賀市消防局内

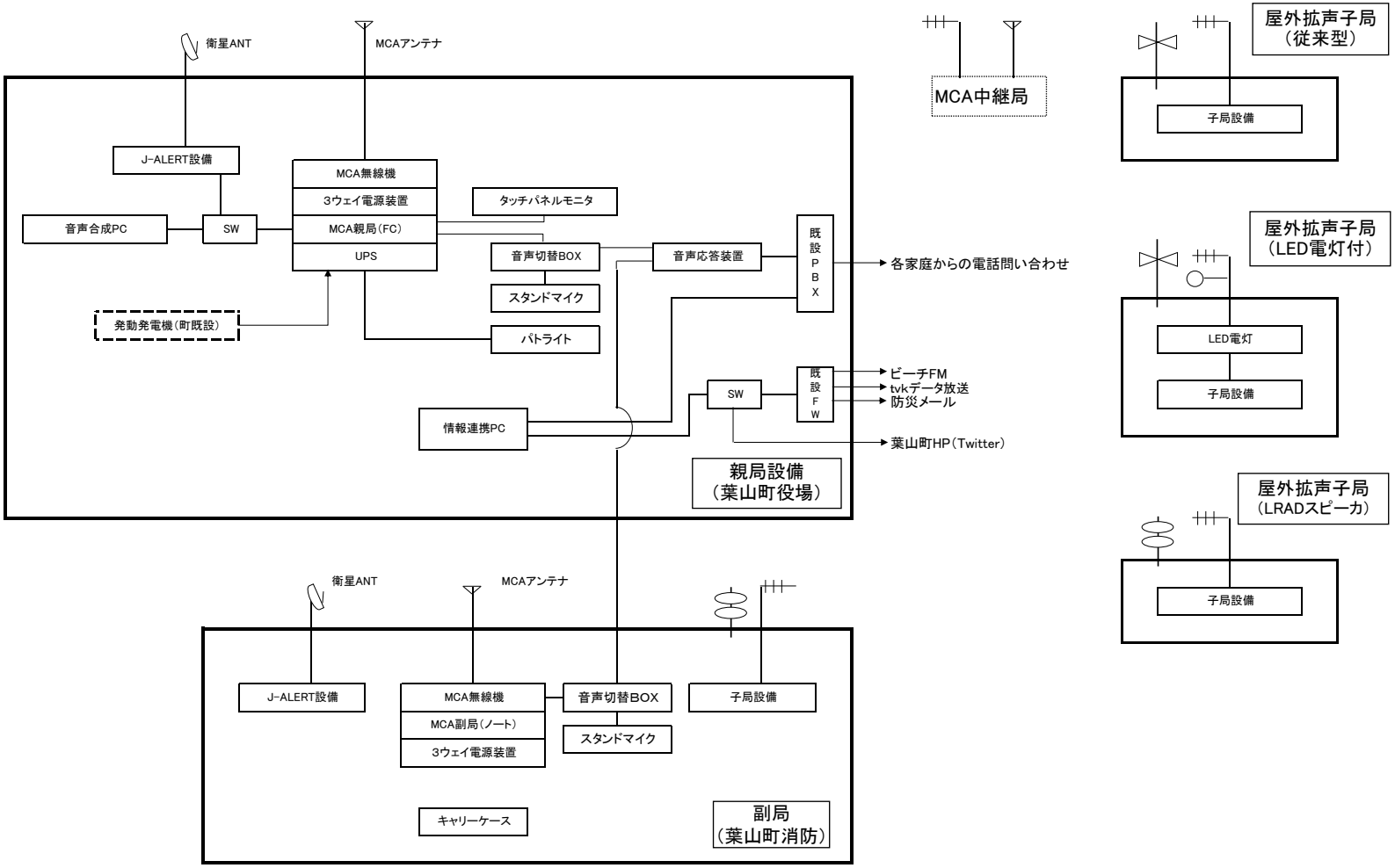
陸上移動局

呼出名称	空中線電力(W)	形態
葉山広報１	5	可搬型
葉山指揮本部１	5	〃
葉山指揮１	5	車載型
葉山指揮ポンプ１	5	〃
葉山ポンプ２	5	〃
葉山救助１	5	〃
救急葉山１	5	〃
救急葉山２	5	〃
葉山機動１	5	〃
葉山機動２	5	〃
葉山資材１	5	〃
葉山資材２	5	〃
葉山指揮101	2	携帯型
葉山指揮ポンプ101	2	〃
葉山ポンプ201	2	〃
葉山救助101	2	〃
救急葉山101	2	〃
救急葉山201	2	〃
葉山機動101	2	〃
葉山機動201	2	〃
葉山資材101	2	〃
葉山資材201	2	〃
葉山101	2	〃

陸上移動局（署活系無線）

葉山指揮301～303	1	携帯型
葉山指揮ポンプ301～304	1	〃
葉山ポンプ301～304	1	〃
葉山救助301～304	1	〃
救急葉山301～304	1	〃
葉山301、302	1	〃

防災行政無線システム構成図



防災通信機器等一覧表

1.通信施設

(1)葉山町防災行政無線

令和2.4.1現在

種別		台数	設置場所
固定系	親局	1式	役場防災行政無線室
	副局	1式	消防本部作戦室（防災行政無線室）
	子局	33台	町内各箇所
移動系	車載局・可搬局・携帯局	30台	役場・各学校・その他関係機関等（次頁参照）

(2)神奈川県防災行政通信網

令和2.4.1現在

種別	設置場所	台数	備考
無線電話	消防本部・署・役場	11台	各関係部署に配置
ファクシミリ	消防本部作戦室・総務部防災安全課	2台	消防本部から役場までは有線

ア.無線電話配置場所及び番号

令和2.4.1現在

設置場所	番号	設置場所	番号
消防本部予防課長	９２０１	災害対策本部（２－２会議室）	９３０６
消防長室	９２０２	総務部防災安全課	９３０７
消防本部第３会議室	９２０３	都市経済部道路河川課	９３０８
消防本部消防総務課長	９２０４	福祉部福祉課	９３０９
消防本部防災行政無線室（副局）	９２０５	ＦＡＸ（消防本部作戦室）	９２００
消防署長	９２０６	ＦＡＸ（総務部防災安全課）	９３００
消防本部作戦室	９２０９		

2.その他通信機器等

令和2.4.1現在

種別	設置場所	台数	備考
県ネットワークシステム	消防作戦室	1式	県と電話回線にて接続
アマチュア無線局	消防本部事務室	2基	代表　葉山アマチュア無線クラブ
県計測地震計	消防作戦室（防災行政無線室）	1式	県と電話回線にて接続
衛星電話	災害対策本部室	4台	災害非常用
携帯電話	役場防災行政無線室	15台	災害非常用

3.防災用移動系無線局（MCA無線）

令和2.4.1現在

種別		呼出し名称	配置先
MCA無線	1 可搬型	はやま 101	役場防災行政無線室
	2 可搬型	はやま 102	消防本部
	3 可搬型	はやま 103	葉山警察署警備課
	4 可搬型	はやま 104	役場防災行政無線室
	5 可搬型	はやま 105	役場防災行政無線室
	6 可搬型	はやま 106	役場防災行政無線室
	7 可搬型	はやま 107	上山口小学校
	8 可搬型	はやま 108	一色小学校
	9 可搬型	はやま 109	葉山小学校
	10 可搬型	はやま 110	長柄小学校
	11 可搬型	はやま 111	葉山中学校
	12 可搬型	はやま 112	南郷中学校
	13 携帯型	はやま 201	役場防災行政無線室
	14 携帯型	はやま 202	役場防災行政無線室
	15 携帯型	はやま 203	役場防災行政無線室
	16 携帯型	はやま 204	役場防災行政無線室
	17 携帯型	はやま 205	役場防災行政無線室
	18 携帯型	はやま 206	役場防災行政無線室
	19 携帯型	はやま 207	役場防災行政無線室
	20 携帯型	はやま 208	役場防災行政無線室
	21 携帯型	はやま 209	役場防災行政無線室
	22 携帯型	はやま 210	役場防災行政無線室
	23 携帯型	はやま 211	役場防災行政無線室
	24 携帯型	はやま 212	役場防災行政無線室
	25 車載型	はやま 301	消防本部指揮車 49-86
	26 車載型	はやま 302	アクア（広報車） 59-82
	27 車載型	はやま 303	プロボックス（広報車） 70-58
	28 車載型	はやま 304	フィット 24-30
	29 車載型	はやま 305	タウンエース 18-27
	30 車載型	はやま 306	道路河川課 NBOX 75-51

消防団通信機器等一覧表

1.無線・有線施設　　令和2.4.1現在

番号	設　　備	台　　数
1	デ　ジ　タ　ル　簡　易　無　線　局	65　　台
2	加　　入　　電　　話	6　　台

2.無線局　　令和2.4.1現在

規　格	局　数	設　置　場　所	台　　数	出力（W）
デジタル簡易無線局	65局	本　　団	10　台	5　W
		第　1　分　団	8　台	5　W
		第　2　分　団	8　台	5　W
		第　3　分　団	8　台	5　W
		第　4　分　団	8　台	5　W
		第　5　分　団	15　台	5　W
		第　6　分　団	8　台	5　W

119番着信件数（固定・IP電話）

令和元年中

種別	火災	救急	救助	その他災害	他都市転送	問い合わせ	いたずら	間違い無言	その他	訓練	試験	合計
件数	5	1,021	4	30	1	61	0	25	127	131	25	1,430

119番着信件数（携帯電話）

令和元年中

種別	火災	救急	救助	その他災害	他都市転送	問い合わせ	いたずら	間違い無言	その他	訓練	試験	合計
件数	4	697	5	28	67	83	4	67	192	17	7	1,171

NET119を利用しての119番通報件数

令和元年中

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
回数													0

NET119登録者数

令和元.12.31現在

登録者数
19

気　　象　　関　　係

消防庁舎屋上の気象情報収集装置

月別気象調

気温(℃)

令和元年中

月別 / 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間平均
最 高	14.6	19.0	21.1	22.3	28.0	30.1	30.9	34.2	32.7	30.1	22.2	20.1	
(起日)	(20日)	(4日)	(22日)	(22日)	(27日)	(28日)	(31日)	(18日)	(7日)	(5日)	(14日)	(2日)	
最 低	-0.6	-0.1	0.1	3.4	7.9	14.2	17.8	22.4	19.2	12.7	3.8	2.1	
(起日)	(27日)	(2日)	(24日)	(10日)	(8日)	(13日)	(9日)	(23日)	(28日)	(23日)	(29日)	(8日)	
平均	6.7	7.7	10.8	13.5	19.0	21.2	23.6	27.6	24.9	19.6	13.8	9.6	16.5

湿度(%)

月別 / 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間平均
最 高	97.2	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	
(起日)	(31日)	(19日)	(31日)	(30日)	(29日)	(30日)	(31日)	(30日)	(30日)	(31日)	(27日)	(24日)	
最 低	18.6	24.6	21.8	20.2	28.9	39.0	62.0	54.7	45.8	33.1	30.2	28.2	
(起日)	(29日)	(1日)	(18日)	(3日)	(23日)	(17日)	(10日)	(18日)	(25日)	(9日)	(20日)	(28日)	
平均	50.6	62.0	64.0	68.5	77.2	88.1	93.6	89.6	84.9	84.2	71.8	69.1	75.3

風速(m/s)

月別 / 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間平均
最 高	16.6	22.3	18.9	17.4	25.7	17.6	21.1	21.4	38.5	49.1	26.0	23.9	
風向	北西	南	南	南南東	南	南	南南西	南南西	北西	南	南	南	
(起日)	(28日)	(4日)	(21日)	(5日)	(21日)	(27日)	(4日)	(16日)	(9日)	(12日)	(18日)	(2日)	
平均	1.4	1.5	1.7	1.8	1.8	1.5	1.6	2.0	1.3	1.6	1.5	1.5	1.6

雨量(mm)・積雪量(cm)

月別 / 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間平均
日積算	16.5	23.5	29.0	12.0	79.0	69.5	31.0	34.0	152.5	198.5	33.0	69.0	
(起日)	(31日)	(28日)	(11日)	(27日)	(21日)	(10日)	(14日)	(23日)	(9日)	(12日)	(22日)	(2日)	
降雨日数	2日	6日	12日	10日	10日	11日	11日	7日	9日	15日	9日	8日	
降雨量	17.0	39.5	100.0	59.5	135.0	194.0	107.0	102.0	239.5	384.0	72.5	112.0	130.2
積雪日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
積雪量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

風向頻度調(%)

令和元年中

風向	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北	5.5	6.9	6.8	5.4	4.7	2.1	3.5	3.5	2.0	5.1	8.3	8.5	8.8
北北東	8.1	9.5	12.2	7.5	6.1	3.4	4.1	5.8	2.1	8.6	12.8	11.4	14.1
北東	11.5	16.4	18.6	9.7	9.1	4.4	5.4	7.6	3.7	11.5	14.9	17.2	19.9
東北東	19.6	25.8	25.3	17.8	15.4	18.8	14.7	14.2	10.5	20.5	18.7	24.1	25.2
東	9.4	9.4	9.6	10.8	9.4	8.7	8.9	8.0	7.4	13.4	8.5	10.2	8.8
東南東	3.8	2.6	3.3	3.1	4.0	4.1	5.6	4.0	4.3	6.3	4.0	3.0	2.0
南東	3.0	1.6	2.1	2.2	3.4	4.3	4.5	4.0	4.0	4.8	2.8	1.6	1.3
南南東	4.7	1.6	1.3	1.9	6.5	10.2	7.2	8.5	10.3	4.0	2.4	1.5	1.1
南	10.2	2.0	4.0	5.2	14.2	17.3	16.5	19.8	27.9	7.2	5.2	2.2	2.6
南南西	7.1	3.0	3.6	6.7	11.5	11.3	10.6	8.6	14.9	6.1	2.8	3.2	2.4
南西	3.5	1.7	1.4	1.9	4.0	6.6	5.1	5.5	7.3	4.4	2.1	1.7	0.5
西南西	0.8	0.7	0.5	0.6	1.0	1.0	0.9	1.0	1.3	1.2	0.7	0.8	0.4
西	0.8	0.9	0.8	1.5	1.0	0.7	0.8	0.5	0.7	0.8	0.9	1.0	0.4
西北西	1.8	4.3	1.4	5.8	1.2	0.8	1.3	0.8	0.9	1.2	1.3	1.5	1.5
北西	4.1	6.3	3.5	10.0	2.8	3.0	3.8	3.3	1.0	1.5	4.2	4.6	4.7
北北西	6.1	7.3	5.6	9.9	5.7	3.3	7.1	4.9	1.7	3.4	10.4	7.5	6.3
静穏	4.7	7.8	4.9	2.8	2.0	3.9	6.8	8.2	3.9	8.4	2.6	2.4	2.8

予　防　関　係

町内会防災訓練

防火対象物・防火管理者選任状況

(延べ面積150㎡以上)　　令和2.4.1現在

用途		区分	防火対象物数	防火管理者選任義務対象物	防火管理者選任届出済対象物
1　項	イ	劇場等			
	ロ	公会堂等	16	16	16
2　項	イ	キャバレー等			
	ロ	遊技場等			
	ハ	性風俗関連店舗等			
	ニ	カラオケボックス等			
3　項	イ	待合等			
	ロ	飲食店等	17	13	13
4　項		物品販売店等	29	20	20
5　項	イ	旅館等	25	16	16
	ロ	共同住宅等	188	22	22
6　項	イ	病院等	5	3	3
	ロ	社会福祉施設等（入所）	13	13	13
	ハ	社会福祉施設等（通所）	10	7	7
	ニ	幼稚園等	7	5	5
7　項		学校等	17	7	7
8　項		図書館等	4	3	3
9　項	イ	蒸気浴場等			
	ロ	公衆浴場等			
10　項		停車場等			
11　項		神社等	17	4	4
12　項	イ	工場等	8	1	1
	ロ	スタジオ等			
13　項	イ	駐車場等	4		
	ロ	格納庫等			
14　項		倉庫等	10		
15　項		事業所等	46	11	11
16　項	イ	特定複合用途	72	30	29
	ロ	非特定複合用途等	20	2	2
16項の2		地下街			
16項の3		準地下街			
17　項		重要文化財等	1	1	1
18　項		アーケード			
19　項		山林			
20　項		舟車			
合計			509	174	173

3階建て以上防火対象物状況

(延べ面積150㎡以上)　　令和2.4.1現在

用途＼階数			3	4	5	6	7	8	合計
1項	イ	劇場等							
	ロ	公会堂等	2						2
2項	イ	キャバレー等							
	ロ	遊技場等							
	ハ	性風俗関連店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
3項	イ	待合等							
	ロ	飲食店等	1						1
4項		物品販売店等							
5項	イ	旅館等	7	4					11
	ロ	共同住宅等	35	12	9	8	1	1	66
6項	イ	病院等	1						1
	ロ	社会福祉施設等（入所）	4	3	1				8
	ハ	社会福祉施設等（通所）	1						1
	ニ	幼稚園等							
7項		学校等	11						11
8項		図書館等							
9項	イ	蒸気浴場等							
	ロ	公衆浴場等							
10項		停車場等							
11項		神社等	1						1
12項	イ	工場等	1						1
	ロ	スタジオ等							
13項	イ	駐車場等							
	ロ	格納庫等							
14項		倉庫等	1						1
15項		事業所等	12	2					14
16項	イ	特定複合用途	29	5	1	1	1		37
	ロ	非特定複合用途等	9	4	1				14
16項の2		地下街							
16項の3		準地下街							
17項		重要文化財等							
18項		アーケード							
19項		山林							
20項		舟車							
合計			115	30	12	9	2	1	169

防火対象物届出状況

令和元年度

用途 ＼ 届出			防火管理者選任（解任）届出書	消防計画作成（変更）届出書	統括防火管理者選任（解任）届出書	全体についての消防計画作成（変更）届出書	防火対象物点検結果報告書	特例認定適用申請書	圧縮アセチレンガス等貯蔵又は取扱いの届出書	消防用設備等設置届出書	消防用設備等点検結果報告書	表示マーク交付（更新）申請書	火気使用設備等設置届出書	電気設備等設置届出書	防火対象物使用開始届出書
1	イ	劇場等													
	ロ	公会堂等	3	4			4				14				
2	イ	キャバレー等													
	ロ	遊技場等													
	ハ	性風俗関連店舗等													
	ニ	カラオケボックス等													
3	イ	待合等													
	ロ	飲食店等	4	6					1	3	14			1	7
4		物品販売店等	9	10			1			3	26			1	2
5	イ	旅館等	3	5			2		1	22	25				9
	ロ	共同住宅等	3	3						3	56			1	1
6	イ	病院等	1				1			2	6				1
	ロ	社会福祉施設等（入所）	5	4						6	13				
	ハ	社会福祉施設等（通所）	4	4						2	14				2
	ニ	幼稚園等									6				
7		学校等	3	6						2	7				1
8		図書館等	2	2							4				
9	イ	蒸気浴場等													
	ロ	公衆浴場等													
10		停車場等													
11		神社等									6				
12	イ	工場等									1				
	ロ	スタジオ等													
13	イ	駐車場等								3					1
	ロ	格納庫等													
14		倉庫等								1	3				1
15		事業所等	1	3						2	23				3
16	イ	特定複合用途	3	8			8			29	43				2
	ロ	非特定複合用途等									4				
16の2		地下街													
16の3		準地下街													
17		重要文化財等									1				
18		アーケード													
19		山林													
20		舟車													
その他									1						
合計			41	55			16		3	78	266			3	30

その他届出状況

令和元年度

届出＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
催物開催届出書	2	2											4
火災と紛らわしい行為の届出書	6	2	5	5	2	1	3	13	13	15	4	4	73
煙火打上げ届出書			3		1	1							5
道路工事（占用）届出書	6	4	5	7	9	6	11	6	5	4	4	2	69
露店等開設届出書	2	2	1	3	3		1				1		13

危険物関係届出状況

令和元年度

種別 製造所等の別	少量危険物貯蔵取扱い届出書	少量危険物貯蔵取扱い廃止届出書	危険物保安監督者選任（解任）届出書	危険物貯蔵所（取扱所）変更届出書	危険物製造所等譲渡引渡届出書	危険物製造所等休止届出書	危険物製造所等廃止届出書
屋内貯蔵所							
屋内タンク貯蔵所							
地下タンク貯蔵所				2			1
移動タンク貯蔵所							
給油取扱所			1	1			
第2種販売取扱所							
一般取扱所							
その他の事業所等	3	1					
合計	3	1	1	3			1

火災予防査察実施状況

防火対象物（対象は150㎡以上）　　令和元年度

消防法施行令別表第1の防火対象物 ＼ 査察実施数			防火対象物数 A	査察実施数 B	査察実施率 B/A %	警告数	命令数
(1)	ロ	公会堂等	16	1	6		
(3)	ロ	飲食店等	17	11	65		
(4)		物品販売店等	29	18	62		
(5)	イ	旅館等	25	19	76		
	ロ	共同住宅等	188				
(6)	イ	病院等	5	5	100		
	ロ	社会福祉施設等（入所）	13	13	100		
	ハ	社会福祉施設等（通所）	10	7	70		
	ニ	幼稚園等	7	2	29		
(7)		学校等	17				
(8)		図書館等	4				
(11)		神社等	17				
(12)	イ	工場等	8				
(13)	イ	駐車場等	4				
(14)		倉庫	10				
(15)		事業所等	46	2	4		
(16)	イ	特定複合用途	72	29	40		
	ロ	非特定複合用途等	20	1	5		
(17)		重要文化財等	1				
合計			509	108	21		

危険物施設　　令和元年度

危険物施設 ＼ 査察実施数	危険物施設数 A	査察実施数 B	査察実施率 B/A %	警告数	命令数
屋内貯蔵所	1	2	200		
屋内タンク貯蔵所	1				
地下タンク貯蔵所	11	6	55		
移動タンク貯蔵所	1				
給油取扱所	8	8	100		
第２種販売所	1	1	100		
一般取扱所	10	2	20		
合計	33	19	58		

危険物施設状況

令和2.4.1現在

区分 ＼ 貯蔵所等		貯蔵所				取扱所			合計
		屋内	屋内タンク	地下タンク	移動タンク	給油	第2種販売	一般	
類別	第1類								
	第2類								
	第3類								
	第4類	1	1	11	1	8	1	10	33
	第5類								
	第6類								
合計		1	1	11	1	8	1	10	33

数量別	5倍以下	1	1	8	1			4	15
	5倍を超え10倍以下			2		1		6	9
	10倍を超え50倍以下			1		2	1		4
	50倍を超え100倍以下					1			1
	100倍を超え150倍以下								
	150倍を超え200倍以下					1			1
	200倍を超えるもの					3			3
合計		1	1	11	1	8	1	10	33

地区別危険物施設状況

令和2.4.1現在

地区 / 貯蔵所等	木古庭	上山口	下山口	一色	堀内	長柄	合計
屋内貯蔵所					1		1
屋内タンク貯蔵所					1		1
地下タンク貯蔵所	1	1	1	1	6	1	11
移動タンク貯蔵所						1	1
給油取扱所	3			2	2	1	8
第2種販売取扱所	1						1
一般取扱所	1	2	1	3	2	1	10
合計	6	3	2	6	12	4	33
少量危険物	3	11	3	9	7	7	40

地区別危険物貯蔵取扱状況

令和2.4.1現在

地区 / 類別		木古庭	上山口	下山口	一色	堀内	長柄	合計
第4類 (ℓ)	第1石油類	88,000			80,000	6,380	50,000	224,380
	第2石油類	38,956.8	16,078	14,000	70,000	32,980	41,540	213,554.8
	第3石油類	6,000			11,000	67,381	8,000	92,381
	第4石油類							
合計		132,956.8	16,078	14,000	161,000	106,741	99,540	530,315.8

危険物施設許認可処理状況

令和元年度

件数 ＼ 貯蔵所等		貯蔵所				取扱所			その他の事業所等	合計
		屋内	屋内タンク	地下タンク	移動タンク	給油	第2種販売	一般		
許可	変更		1		1	2				4
	設置									
完成検査	変更		1		1	2				4
	設置									
他市への変更（移動タンク）										
仮使用承認						2				2
仮貯蔵・仮取扱										
完成検査前検査										
予防規程	変更									
	制定					1				1

用途別建築同意等事務処理状況

（計画通知は同意に含む）

令和元年度

用途		種別	新築	増築	改築	用途変更	合計
1	イ	劇場等					
	ロ	公会堂等					
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場等					
	ハ	性風俗関連店舗等					
	ニ	カラオケボックス等					
3	イ	待合等					
	ロ	飲食店等	2				2
4		物品販売店等					
5	イ	旅館等					
	ロ	共同住宅等	3				3
6	イ	病院等					
	ロ	社会福祉施設等（入所）		1		1	2
	ハ	社会福祉施設等（通所）	1				1
	ニ	幼稚園等					
7		学校等					
8		図書館等					
9	イ	蒸気浴場等					
	ロ	公衆浴場等					
10		停車場等					
11		神社等					
12	イ	工場等	1				1
	ロ	スタジオ等					
13	イ	駐車場等					
	ロ	格納庫等					
14		倉庫等	1				1
15		事業所等	1				1
16	イ	特定複合用途				2	2
	ロ	非特定複合用途等	1				1
住宅		同意	7	1			8
		通知	153	2			155
長屋			2				2
仮設海の家			8				8
建築設備		通知	6				6
その他			8				8
小計		同意	35	2		3	40
		通知	159	2			161
合計			194	4		3	201

地区別消防同意・確認通知・計画通知状況

令和元年度

区分＼地区	木古庭	上山口	下山口	一色	堀内	長柄	合計
消防同意	1	3	9	9	12	5	39
確認通知	3	2	18	41	44	53	161
計画通知							
合計	4	5	27	50	56	58	200

過去5年間の消防同意・確認通知・計画通知状況

種別＼年	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新築	45	64	36	36	35
	184	230	151	156	159
				1	
増築		2	3	1	2
	5	5	5	1	2
改築					
用途変更		1	1	1	3
小計	45	67	40	38	40
	189	235	156	157	161
				1	
合計	234	302	196	196	201

上段　　消防同意によるもの
中段　　確認通知によるもの
下段　　計画通知によるもの

救　急　関　係

高規格救急車

救急概況

救急出場件数単位：件

救急搬送人員単位：人　　令和元年中

救急出場件数	1,731
救急搬送人員	1,643

町内外在住別搬送人員状況

単位：人　　令和元年中

町内在住者	1,356
町外在住者	286
その他	1
合計	1,643

傷病程度別搬送人員状況

単位：人　　令和元年中

死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
17	135	796	695		1,643

発生日別状況

単位：件　　令和元年中

休日	休日以外	合計
519	1,212	1,731

救急救命士資格者及び再教育実施状況

単位：人　　令和元.12.31現在

救急救命士 (指導救命士)	特定行為認定救命士				再教育
	気管挿管	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	薬剤投与	拡大２行為	
15 (1)	11	9	15	14	12

・「拡大2行為」とは、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与をいう。

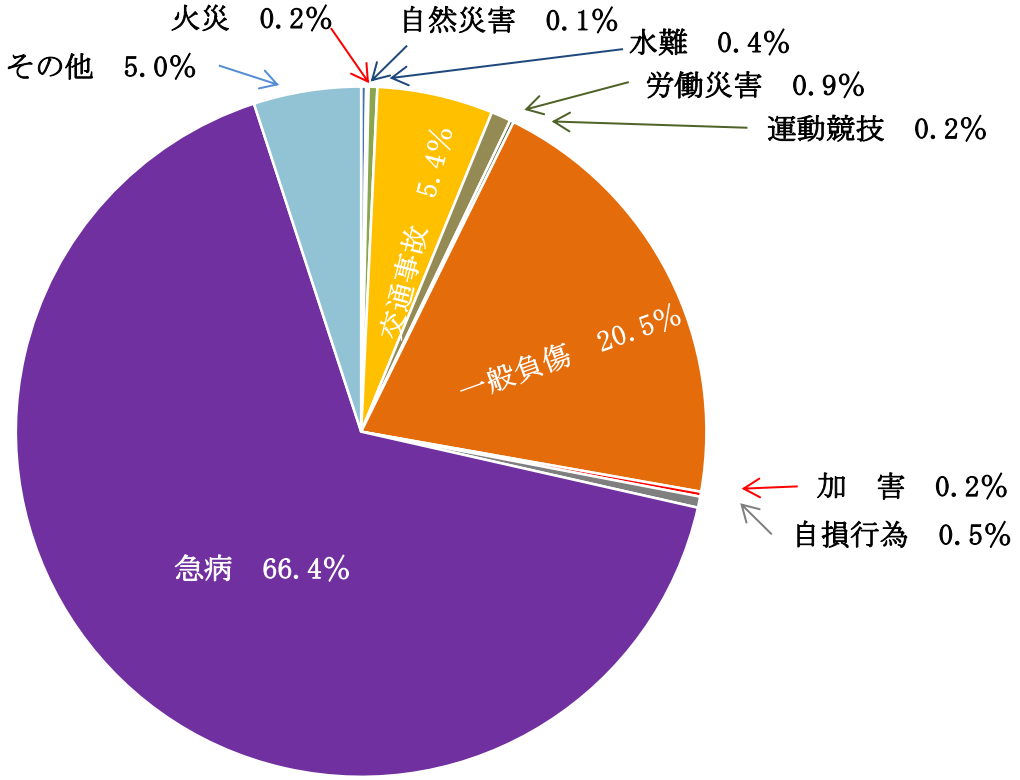
・「再教育」とは、救急業務に従事している者で、2年間で128時間以上(96時間以上の病院実習及び32時間以上の指定教育プログラム)の教育を修了した者。

救急出場・搬送人員状況

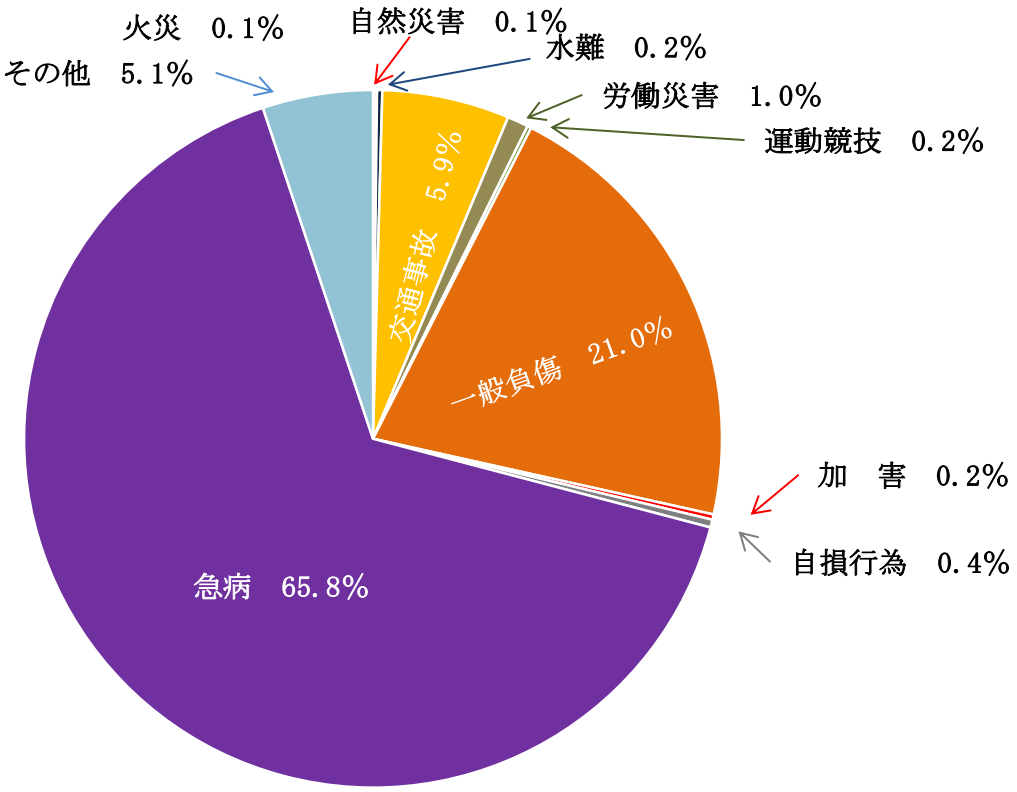
令和元年中

種別 / 件数/人員	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
出場件数	4	2	7	94	16	3	355	4	9	1,150	87	1,731
搬送人員	1	2	4	97	16	3	345	4	6	1,081	84	1,643

出場件数



搬送人員



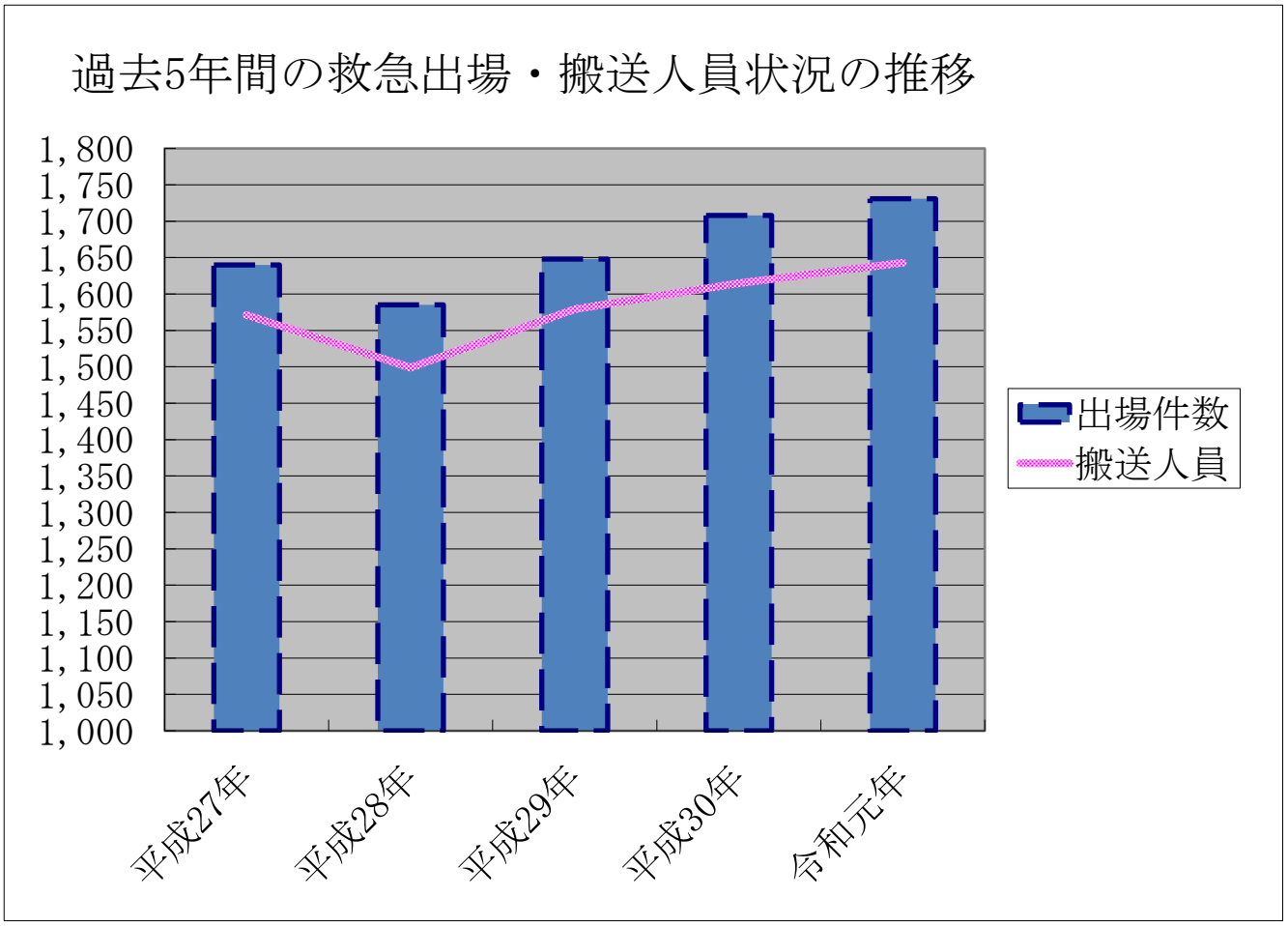
月別救急出場・搬送人員状況

令和元年中

月	種別 件数/人員	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	不搬送
1	出場件数				7			33			118	10	168	17
	搬送人員				5			30			106	10	151	
2	出場件数			2	10	1		17	1		98	13	142	8
	搬送人員			1	12	1		16	1		93	12	136	
3	出場件数				7	2		25		1	77	5	117	2
	搬送人員				7	2		25		1	75	5	115	
4	出場件数	1			9	1		17		1	92	5	126	11
	搬送人員				8	1		17			85	5	116	
5	出場件数			1	9			26	1	1	81	1	120	6
	搬送人員				10			27	1		77	1	116	
6	出場件数				10	1		24	1	1	91	10	138	10
	搬送人員				9	1		22	1	1	84	10	128	
7	出場件数			2	10	3		30		1	99	5	150	7
	搬送人員			2	10	3		30			94	5	144	
8	出場件数			1	4	1		33		1	124	9	173	7
	搬送人員			1	4	1		31		1	119	9	166	
9	出場件数				7	1		36		1	100	5	150	10
	搬送人員				8	1		33		1	94	4	141	
10	出場件数	1	2	1	7	2	1	33			95	7	149	7
	搬送人員		2		8	2	1	33			91	7	144	
11	出場件数	2			10	2	2	41			80	6	143	4
	搬送人員	1			12	2	2	40			78	6	141	
12	出場件数				4	2		40	1	2	95	11	155	11
	搬送人員				4	2		41	1	2	85	10	145	
合計	出場件数	4	2	7	94	16	3	355	4	9	1,150	87	1,731	100
	搬送人員	1	2	4	97	16	3	345	4	6	1,081	84	1,643	

過去5年間の救急出場・搬送人員状況

年	種別 件数/人員	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	不搬送
平成27年	出場件数	6		6	89	10	5	320	2	8	1,141	53	1,640	83
	搬送人員	2		3	96	10	5	308	2	6	1,094	45	1,571	
平成28年	出場件数	8	1	10	102	19	8	312	8	3	1,057	57	1,585	92
	搬送人員	1	1	4	100	19	8	298	4	3	1,013	48	1,499	
平成29年	出場件数	6		3	89	9	6	332	4	5	1,115	79	1,648	71
	搬送人員	3		1	87	9	6	321	2	5	1,069	76	1,579	
平成30年	出場件数	4	1	11	87	19	9	341	3	6	1,153	74	1,708	97
	搬送人員		1	1	82	19	9	333	3	5	1,088	74	1,615	
令和元年	出場件数	4	2	7	94	16	3	355	4	9	1,150	87	1,731	100
	搬送人員	1	2	4	97	16	3	345	4	6	1,081	84	1,643	



町内外在住別救急搬送人員状況

令和元年中

種別 / 在住	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
町内	1	1	1	52	5		268	4	6	958	60	1,356
町外		1	3	45	11	3	77			122	24	286
その他										1		1
合計	1	2	4	97	16	3	345	4	6	1,081	84	1,643

時間別救急出場状況

令和元年中

種別 / 時間	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0 ～ 2			2	3			13		1	61	1	81
2 ～ 4							8	1	3	37	4	53
4 ～ 6				1			10			59		70
6 ～ 8			1	5			28			98	1	133
8 ～ 10	1			16	4		49	1		140	7	218
10 ～ 12				15	4	1	44			132	28	224
12 ～ 14			1	9	5		54	1		128	18	216
14 ～ 16	1		1	12	3	2	37		3	92	10	161
16 ～ 18			2	15			38			94	10	159
18 ～ 20	1			11			37			106	3	158
20 ～ 22	1	2		4			21		1	131	4	164
22 ～ 24				3			16	1	1	72	1	94
合計	4	2	7	94	16	3	355	4	9	1,150	87	1,731

曜日別救急出場状況

令和元年中

種別 / 曜日	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
日			2	17	1	1	63	1	4	188	2	279
月				6	6		50	2	3	193	19	279
火	1		1	13	3		50			148	17	233
水	1		2	12		1	49	1	2	156	12	236
木	2			14	3		43			148	14	224
金			1	18	3		47			162	9	240
土		2	1	14		1	53			155	14	240
合計	4	2	7	94	16	3	355	4	9	1,150	87	1,731

覚知別救急出場状況

令和元年中

種別 / 覚知	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
119番	3	2	5	84	16	3	351	4	8	1,126	87	1,689
加入			1	3			1			12		17
駆けつけ				1						5		6
その他	1		1	6			3		1	7		19
合計	4	2	7	94	16	3	355	4	9	1,150	87	1,731

地区別救急出場状況

令和元年中

種別 / 地区	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
木古庭				8	4		23		4	66		105
上山口				14	3		24			100	5	146
下山口	2			8			17			90	47	164
一色	2		1	17	2		108	1	3	303	21	458
堀内		2	6	14	2	1	108	1	2	284	5	425
長柄				32	4	2	74	2		303	9	426
町外				1	1		1			4		7
合計	4	2	7	94	16	3	355	4	9	1,150	87	1,731

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況

令和元年中

年齢区分	傷病程度＼種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	死亡												
	重症												
	中等症												
	軽症												
	その他												
	合計												
乳幼児	死亡												
	重症										1		1
	中等症				1			3			5	2	11
	軽症				3			17			25	1	46
	その他												
	合計				4			20			31	3	58
少年	死亡												
	重症				1								1
	中等症			1	1	1	2	2		1	4	2	14
	軽症				6		1	5			14	2	28
	その他												
	合計			1	8	1	3	7		1	18	4	43
成人	死亡										1		1
	重症			2	4					3	10	1	20
	中等症				13	5		26		1	119	9	173
	軽症		1		43	5		51	2	1	119	3	225
	その他												
	合計		1	2	60	10		77	2	5	249	13	419
高齢者	死亡	1						1			14		16
	重症			1	1			6			96	9	113
	中等症				6	1		112			429	50	598
	軽症		1		18	4		122	2		244	5	396
	その他												
	合計	1	1	1	25	5		241	2		783	64	1,123
合計	死亡	1						1			15		17
	重症			3	6			6		3	107	10	135
	中等症			1	21	7	2	143		2	557	63	796
	軽症		2		70	9	1	195	4	1	402	11	695
	その他												
	合計	1	2	4	97	16	3	345	4	6	1,081	84	1,643

救急隊員の行った応急処置

令和元年中

応急処置＼種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	1,081	96	345	120	1,642
止血	13	5	17	4	39
固定	10	65	94	17	186
人工呼吸	10		1	1	12
心マッサージ	2			1	3
うち自動	2			1	3
心肺蘇生	32		2	5	39
うち自動	7			1	8
酸素吸入	245	6	16	27	294
気道確保	56		6	6	68
うち経鼻エアウェイ	5				5
うち喉頭鏡・鉗子等使用	4			2	6
うちﾗﾘﾝｹﾞｱﾙﾏｽｸ等使用	12		1	3	16
気管挿管				1	1
保温	896	72	268	100	1,336
被覆	11	34	119	14	178
在宅療法継続	37		5	1	43
A 点滴	3				3
B 外瘻	12		3		15
C その他	25		2	1	28
除細動	4			1	5
薬剤投与	11			1	12
その他の応急処置	1,076	96	344	119	1,635
血圧測定	1,045	96	336	113	1,590
聴診器	648	51	122	64	885
血中酸素飽和度測定	1,053	96	338	115	1,602
心電図	848	34	151	86	1,119
うち伝送					
静脈路確保	14			1	15
うち CPA 前	2				2
血糖測定	13				13
エピペン投与					
ブドウ糖投与					

収容状況

令和元年中

収容先＼種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	搬送件数
町内医療機関				1	22	4		57			367	12	463
町外医療機関	逗子市		1		1			5			4		11
	横須賀市	1	1	3	47	8	2	183	2	5	455	32	739
	鎌倉市				6	2		47	1	1	128	25	210
	横浜市				13	2	1	49	1		124	13	203
	その他										3	2	5
合計		1	2	4	89	16	3	341	4	6	1,081	84	1,631

医療機関紹介状況

令和元年中

紹介先	管内当番医療機関	当番以外の管内医療機関	その他の医療機関	合計
件数	109		352	461

応急手当普及啓発活動実施状況

令和元年中

講習	実施要綱に基づく普及講習		その他の講習	合計
	普通救命講習	上級救命講習		
実施回数	19	1	8	28
受講人数	191	9	634	834

応援救急出場件数

令和元年中

区分＼種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
横須賀市					1					1		2
逗子市				1			1			3		5
合計				1	1		1			4		7

受援救急件数

令和元年中

区分＼種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
横須賀市	1			4			2			15		22
逗子市				1			2			11		14
合計	1			5			4			26		36

救　助　関　係

緊急消防援助隊県内合同訓練（神奈川県消防学校）

救助概況

令和元年中

区分＼種別	火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	自然災害等 風水害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故 ガス及び	破裂事故	その他の事故	合計
出場件数	1			4			6			6	17
活動件数	1			2			4			6	13
救助人員	2			2			7			5	16
出場延人員	48			43			49			72	212

救助出場人員・活動人員状況

令和元年中

区分	種別	火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	自然災害等 風水害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故 ガス及び	破裂事故	その他の事故	合計
出場人員	救助隊員	2			8			12			17	39
	消防隊員	14			26			22			37	99
	救急隊員	6			9			15			18	48
	消防団員	26										26
	合計	48			43			49			72	212
活動人員	救助隊員	2			4			8			17	31
	消防隊員	14			15			15			33	77
	救急隊員	6			3			12			15	36
	消防団員											
	合計	22			22			35			65	144

発生場所別救助人員状況

令和元年中

区分		種別	火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	自然災害等 風水害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故 ガス及び	破裂事故	その他の事故	合計
屋内	住居		2						7				9
	その他の屋内												
屋外	道路	高速道路											
		その他の道路											
	水面	内水面										1	1
		外水面				2							2
	山岳												
	その他の屋外											4	4
地下													
その他													
合計			2			2			7			5	16

救助出場車両・活動車両状況

令和元年中

区分	種別	火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	自然災害 風水害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故 ガス及び	破裂事故	その事故 その他	合計
出場車両等	救助工作車							4			6	10
	消防ポンプ自動車	3			4			6			8	21
	救急自動車	2			6			5			7	20
	その他	2			5			2			3	12
	消防団車両	4										4
	合計	11			15			17			24	67
活動車両等	救助工作車							3			6	9
	消防ポンプ自動車	3			2			4			7	16
	救急自動車	2			4			4			6	16
	その他	2			3			1			3	9
	消防団車両	4										4
	合計	11			9			12			22	54

発生場所別救助出場(活動)状況

令和元年中

区分	種別		火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	自然災害 風水害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故 ガス及び	破裂事故	その事故 その他	合計
屋内	住居		1(1)						6(4)			1(1)	8(6)
	その他の屋内												
屋外	道路	高速道路											
		その他の道路											
	水面	内水面										1(1)	1(1)
		外水面				4(2)							4(2)
	山岳												
	その他の屋外											4(4)	4(4)
地下													
その他													
合計			1(1)			4(2)			6(4)			6(6)	17(13)

(　　)内は活動件数を表す

時間別救助出場(活動)状況

令和元年中

区分＼種別	火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	自然災害 風水害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故 ガス及び	破裂事故	その他事故	合計
0 ～ 2				1(1)							1(1)
2 ～ 4											
4 ～ 6											
6 ～ 8				1(0)			1(0)				2(0)
8 ～ 10											
10 ～ 12							3(2)				3(2)
12 ～ 14										4(4)	4(4)
14 ～ 16	1(1)									1(1)	2(2)
16 ～ 18				2(1)			1(1)			1(1)	4(3)
18 ～ 20							1(1)				1(1)
20 ～ 22											
22 ～ 24											
合計	1(1)			4(2)			6(4)			6(6)	17(13)

(　　)内は活動件数を表す

地区別救助出場状況

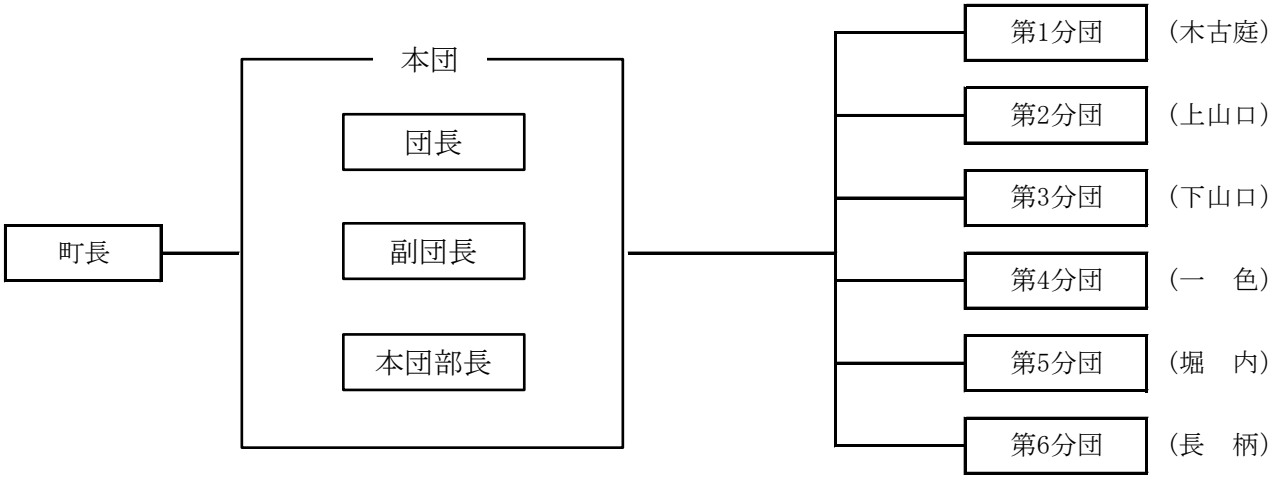
令和元年中

区分＼種別	火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	自然災害 風水害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故 ガス及び	破裂事故	その他事故	合計
木古庭											
上山口										1	1
下山口							1			1	2
一色	1						2				3
堀内				4			3			1	8
長柄										3	3
町外											
合計	1			4			6			6	17

消　防　団　関　係

第３回葉山町消防操法大会

消防団組織図



消防団員定員・実員

令和2.4.1現在

消防団数	分団数	役職	本団 団長	本団 副団長	本団 本団部長	分団 分団長	分団 副分団長	分団 部長	分団 班長	分団 団員	合計
		階級	団長	副団長	部長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	
1	6	定員	1	2	6	6	6	12	24	141	198
		実員	1	2	4	6	6	12	24	103	158

消防団員報酬

令和2.4.1現在

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	技術員
年額	92,000	72,000	56,000	47,000	38,000	33,000	32,000	23,000

消防団員出動費用弁償

令和2.4.1現在

区分	1回あたりの金額	摘要
災害出場（4時間未満）	3,000円	日をまたぐ出動の場合は、暦日を1日とし、連続する出動時間の合計により区分を適用する。
災害出場（4時間以上）	4,000円	
警戒出場	3,000円	
訓練出場	3,000円	

消防団詰所所在地

令和2.4.1現在

区分 / 分団	住所	構造	階数	敷地面積（㎡）	延面積（㎡）	完成年月日
第 1 分 団	木古庭 606番地1	鉄骨造	2	217.17	177.49	平成2年11月13日
第 2 分 団	上山口 2405番地3	鉄骨造	2	207.60	117.75	平成11年3月26日
第 3 分 団（複合施設用途）	下山口 1705番地1	鉄骨造	1	679.61	85.05	平成9年11月28日
第 4 分 団	一色 1503番地3	鉄骨造	2	337.00	123.41	平成13年3月27日
第 5 分 団	堀内 774番地1	鉄骨造	2	311.40	113.96	平成15年3月17日
第 6 分 団	長柄 488番地3	鉄骨造	1	756.00	122.42	平成29年3月31日

消防団員配置

令和2.4.1現在

階級 / 分団	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
本団	1	2			4			7
第 1 分 団			1	1	2	4	17	25
第 2 分 団			1	1	2	4	14	22
第 3 分 団			1	1	2	4	16	24
第 4 分 団			1	1	2	4	11	19
第 5 分 団			1	1	2	4	23	31
第 6 分 団			1	1	2	4	22	30
合計	1	2	6	6	16	24	103	158

消防団員年齢

令和2.4.1現在

階級 / 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
18 ～ 24							7	7
25 ～ 29							6	6
30 ～ 34						1	18	19
35 ～ 39			1	2	2	7	24	36
40 ～ 44			2	1	6	5	21	35
45 ～ 49			2	3	5	3	15	28
50 ～ 54			1		2	5	5	13
55 ～ 59		2			1	2	7	12
60 ～ 64						1		1
65 歳 以 上	1							1
合 計	1	2	6	6	16	24	103	158
平 均 年 齢	65	59	45	43	45	45	39	

消防団員勤続年数

令和2.4.1現在

分団 / 年数	本団	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	合計
5年未満		5	3	9	5	7	7	36
5年以上10年未満		6	6	6	4	9	9	40
10年以上15年未満	1	3	6	4	5	8	8	35
15年以上20年未満	2	2	5	3	5	7		24
20年以上25年未満	2	4	2	1			5	14
25年以上30年未満	1	4		1				6
30年以上	1	1					1	3
合計	7	25	22	24	19	31	30	158

消防団出場状況

令和元年度

出場	分団 / 回数・人員	本団	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	合計
火災	回数	2			2	2	1	1	8
	人員	5			22	15	1	1	44
訓練	回数	19	5	5	8	8	10	6	61
	人員	54	38	42	47	62	58	42	343
警戒	回数	3	11	10	10	10	11	11	66
	人員	9	83	73	73	73	84	83	478
風水害	回数	4	4	4	4	4	4	4	28
	人員	22	63	58	76	74	64	78	435
その他	回数	3	3	3	4	5	3	3	24
	人員	10	39	29	47	46	35	36	242
合計	延回数	31	23	22	28	29	29	25	187
	延人員	100	223	202	265	270	242	240	1,542

消防団現有車両機械

令和2.4.1現在

区分 分団	配置車両	車両会社名	年式	登録年月日	原動機ポンプ				
					エンジン社名	気筒容積(CC)	ポンプ社名	ポンプ型式	ポンプ級別
第1分団	消防ポンプ自動車	日野	平成17年	平成17年3月9日	日野	4,000	GM いちはら	GM2H2	A-2
	資機材搬送車	日産	平成29年	平成29年12月5日	日産	650			
	小型動力ポンプ		平成27年	平成27年6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
第2分団	消防ポンプ自動車	日野	平成17年	平成17年10月20日	日野	4,000	GM いちはら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ付積載車	ダイハツ	平成26年	平成26年3月17日	ダイハツ	650	トーハツ H26年式 526CC	VF63AS	B-2
第3分団	消防ポンプ自動車	日野	平成20年	平成20年10月16日	日野		GM いちはら	GM2H2	A-2
	資機材搬送車	日産	平成28年	平成28年12月9日	日産	650			
	小型動力ポンプ		平成26年	平成26年9月16日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
第4分団	消防ポンプ自動車	トヨタ	令和2年	令和2年2月12日	トヨタ	2,980	モリタ	MZI	A-2
	小型動力ポンプ付積載車	スバル	平成20年	平成20年10月30日	スバル	650	トーハツ H27年式 209CC	VF21BS	C-1
第5分団	消防ポンプ自動車	日野	平成22年	平成22年3月19日	日野	4,000	GM いちはら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ付積載車	ダイハツ	平成22年	平成22年12月2日	ダイハツ	650	トーハツ H22年式 526CC	VF63AS	B-2
第6分団	消防ポンプ自動車	日野	平成21年	平成21年10月15日	日野	4,000	GM いちはら	GM2H2	A-2
	資機材搬送車	日産	平成30年	平成30年11月26日	日産	650			
	小型動力ポンプ		平成27年	平成27年6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1

消防団備品配置

令和2.4.1現在

備品＼分団	合計	本団	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団
消防ポンプ自動車	6		1	1	1	1	1	1
小型動力ポンプ	3		1		1			1
小型動力ポンプ付積載車	3			1		1	1	
資機材搬送車	3		1		1			1
制服	158	7	25	22	24	19	31	30
活動服	158	7	25	22	24	19	31	30
安全帽	164	7	19	24	30	19	42	23
救助用半長靴	158	7	25	22	24	19	31	30
防火衣	127	7	20	20	20	20	20	20
防火帽	203	7	33	32	27	21	45	38
デジタル簡易無線機	65	15	8	8	8	8	10	8
特定小電力無線機	33	3	5	5	5	5	5	5
ホース（５０㎜）	233		38	38	39	39	37	42
応急処置用セット	6		1	1	1	1	1	1
担架	6		1	1	1	1	1	1
エンジンカッター	6		1	1	1	1	1	1
チェーンソー	6		1	1	1	1	1	1
バール	14		2	2	2	2	4	2
拡声器	13		1	4	3	2	1	2
発動発電機	9		1	1	2	2	1	2
投光機	11		2	2	2	2	2	1
救命ボート	1	1						
救命胴衣	90		10	10	20	20	20	10
大型テント	1	1						

令和２年版消防年報

編集・発行　葉山町消防本部

〒240-0112
神奈川県三浦郡葉山町堀内2050番地10
TEL 046(876)0119　　FAX 046(876)1263